京城日報
(年中無休刊)

## 九月三十日夕刊（前夕刊併せて八頁）

### 全英鐵道總罷業

英國全鐵道員總罷業決行せられ運輸不可能となりたるを以て政府は軍用自動車を使用補充すべし（倫敦電報）

### 英國暴利取締

英國地方に於て暴利取締委員會の成立せる者既に九百に及びたり中央委員會は物價の異正なる原價調査を開始したり（倫敦電報）

### フユーメ領有至當

伊太利外相はフユーメを伊太利が領有するは至當なりと論じたり（倫敦電報）

### 和議再開絶望

南方側の王揖唐代表反對は益々猛烈にして和平會議開催は絶望となれり（上海電報）

### 南方態度決定か

南方軍政府は北方に對する最後の態度決定の爲め二十七日會議を開きたり（上海電報）

### 廣西首腦者召集

#### 廣東問題對應策決議か

香港電報に依れば廣西省長李靜誠氏よりの報告に依れば陸榮廷氏は本月中龍州に於て廣西各首腦者を召集して軍事會議を開き廣東問題の對應策を決議すべしと傳へらる（北京電報）

### 四川內爭起らん

政府に到着せる急報に據れば四川省に於ける熊克武氏と楊庶堪氏との勢力上の爭執は近く大破裂を來さんとする狀態に在り（北京電報）

### 第六條不承認決議

#### 張作霖の寛城子事件報告

寛城子交涉事件の爲め張作霖氏は主要なる督軍公署員及び巡閲使公署員地方長官等を召集し日本よりの交涉案件を報告し要求の六箇條は未だ政治的權利問題を含有せざるも其の要求たる酷に過ぐるものあり況んや本問題は地方の交涉問題なり死傷者の撫恤金其他の四項は之を忍ぶべきも其の第六條の大總統より吉林軍隊を戒告する訓令を發し且つ訓令文は日本領事館の考査を經る事の如き而も之を全國に宣布せしむるは酷の甚だしきものと云はざる可からず決して承認すべきものにあらずと思考すと告げ滿場の諸員も亦之に一致して第六項の不承認を可決し即刻大總統に打電せり（奉天電報）

### 呉佩孚へ軍餉支給

四川督軍熊克武氏より中央政府に向つて要求せる呉佩孚氏軍隊の兵餉十萬元は此の程財政部より支撥せられたり（北京電報）

### 舊禁衛軍隊所轄決定

舊禁衛軍として馮國璋氏統領に係はる第十五、十六師は從來陸軍部の管轄外に在りしが馮國璋氏と徐總統と會見協議の結果該兩師は茲に陸軍部の直轄に歸したり（北京電報）

### 高野博士勞働代表辭退說

勞働代表委員高野博士は友愛會との折合付かず廿九日委員を辭退せりと傳へらる（東京電報）

### 米國駐支公使

新米國駐支公使ラインシュ氏は [illegible]

## 國際銀行聯盟の急務

◎外國貿易の發達に伴ひ外國爲替業務は益々繁忙に赴くべきを以て貿易金融制度を改善して時勢の進運に適應せざる可らず殊に平和克復後の今日世界の產業貿易制度の上に一新生面を拓くべきは勿論にて金融業者就中貿易金融の當事者たる爲替銀行業者が貿易金融制度を改善すべき手段方法として國際銀行聯盟の如きは頗る機宜に適應せるものと云ふべし

◎由來海外遠隔の地に對しては爲替取引を行はんと欲せば外國銀行と爲替取組約定を結ぶか若くは自ら支店銀行を開設するの他に途なく且つ外國銀行と爲替取組約定を結ぶ以上は相手方の銀行に對して相當の手數料を支拂ふは勿論なり而も彼我相互に外國銀行なるが故に先方の銀行は勢ひ自己の銀行の信用程度を知悉し難き不便あり、されば手數料の高率なると共に爲替取組に對し窮屈なる制度を附せらるるは當然なり

◎此に於て自ら支店銀行を開設し直接外國市場の金融業務を營業するは可ならんも營利を目的とする一般銀行が外國市場に支店を開設せんと欲する以上は尠くも其費用を償ふて餘りある收益を得ざる可らざれば今日の如く世界の貿易關係が無限に其範圍を擴大せんとする新時代に處して汎く世界各地に支店銀行を設けんとするが如きは云ふべくして行ふべからざるの難問題なり

◎要するに外國爲替業務の取扱ひを簡便ならしめ彼我相互に手數料の費用を省略して以て今一層國際金融の圓滑を企圖するの必要は戰後の今日益々痛切に感ぜらるるに至りしが其結果爲替取組約定の制度と支店銀行設置制度の二者を折衷して各々其短所を補足するの趣旨に基ける所謂國際銀行聯盟の制度を實施するに至れり

◎國際銀行聯盟の制度は二個若くは數個の銀行が爲替取引上互に融通し得る限度を設定せず且つ低廉なる手數料を以て相互に利用するにあり或は二個若くは數個の銀行が共同出資の下に一の金融機關を設立し必要なる場所に其支機關を置いて爲替取引を營ましむるにあり [illegible] 二種の制度なり

◎即ち第一の形式は理想的國際銀行聯盟にして第二の形式が現實的國際銀行聯盟なるが最近に於ける銀行聯盟の最も顯著なるは佛國のコックス株式會社を中心とせる世界的大聯盟銀行にて最初英國のバークレー銀行と佛國の個人銀行たるコックス會社との共同出資にて資本金二十萬磅を以て別にコックス株式會社なる姉妹銀行を巴里に設立し所謂戰後の發展に備ふるため頃來資本金を百五十萬磅に增加し一般銀行業務を營む外世界的に計畫を樹て五大洲より代表的銀行を選び以て世界的の大聯盟を組織するに至りしが本邦よりは [illegible] 銀行の最近加入を見るに至りたり（大阪より）

## 絹物輸出好況

[illegible]

## 過激派東漸形勢

### 哈爾賓總領事 佐藤尚武氏談

目下浦汐に滞在中の加藤特派大使の内命を受け急遽歸朝の途に上りたる哈爾賓總領事佐藤尚武氏は廿八日朝釜山より下關著直ちに東上せり氏の談に曰く

オムスク政府の現狀は目下の處左程危險に瀕し居らざるも過激派は彼等の首都とせる莫斯科をデニキン軍に襲はれ危險狀態に在るより東漸の方針を執り西伯利に根據を移す形跡あり從つて比較的物資豐富なるオムスクは危險に瀕すべく懸念され居れり

**極力對應策** を講じ居れるオムスク政府は過激派に對し [illegible]

**主義の宣傳** [illegible] 過激派は東漸の手段方法として支那に對し盛んに主義のプロパガンダをなしつゝあるも [illegible] 支那人に對し果して效力を生ぜしむるを得るや頗る疑問に屬す又過激派は哈爾賓を中心としてプロパガンダを行ひつゝあるも哈爾賓は支那の勢力範圍にて支那官憲取締に任じ居れる [illegible]（下關電）

## 鮮商救濟一段落

### 同盟會組織の好影響

京城の內鮮人有力綿布卸商を以て組織せし綿布同盟會は大體に於て [illegible]

**商品の處分** [illegible]

**約三十萬圓** [illegible]

**蓄捌け順調** [illegible]

## 墓地規則改正趣旨（上）

### 大塚參事官談

朝鮮に於ける墓地に對する觀念は內地のそれと異なり最も墓地を尊重するの風習あり朝鮮人が先祖崇拜の觀念と儒教の教義より墓地に對する尊敬の念より起れるものなるが此の

**尊敬の念** と同時に古くより墓地に對する各種の迷信行はれ今日に於ては墓地の良否は死者に對する禮たるのみならず家門の吉凶及び將來一家の盛衰如何に關すとの迷信發達し此の迷信よりして墓地の爭奪起り種々の弊害を發生するに至る、而して官憲に於て之が取締の爲め一規則を發布すれば一弊起り更に此の弊害を取締らざる可らずして際限なき狀態となる、若し夫れ之に放任することは之が爲め徒らに土地を

**不生產的** に占有し [illegible] 產業的施設を妨げ障害を及ぼす事甚だし、斯の如き狀態なるを以て明治四十四年總督府は墓地に關する規則を發布し墓地の整理に着手するに至れり然れども之が運用上の手加減其當を得ざりし爲め物議を起し一兩年前更に其一部に改正を加へしも未だ該規則は民情に適切ならず墓地規則に對する不平不便を緩和するに至らざりしを以て今回根本的改正を施すに至りし所以なり

**改正の點** は種々有之ことすも主要なる點とする所は從來の如く原則として埋葬は必ず共同墓地に爲すべしとの主義を廢し即ち朝鮮に於ける民俗習慣を尊重し一定の制限の下に從來朝鮮に於ける慣行を復活せしむるものなり然れども共同墓地 [illegible]

## 伯國水晶輸出

[illegible]

### 最後の一年

[illegible]

## 戰時は英米

[illegible]

## 卷煙草不足

[illegible]

## 朝郵新造船

[illegible]

## 定例局部長會議

[illegible]

## 財界閑話

[illegible]

## 朝醸創立總會

[illegible]

## 諸官署休業

十月一日 [illegible]

## 人事消息

[illegible]

## 其の日その日

[illegible]

來る十月一日より三日迄三日間
冬衣新柄大賣出し
よせきれ見切反物
同一日より
冬衣新柄陳列會
京城
三越呉服店

森永ミルクキャラメル
此の菓子ありて……いつも
チヤムピオン

十月一日二日三日三日間
冬物大賣出
外ニ見切反物よせ裂物澤山
京城本町
ますや呉服店
電話四八三番

# 國境橫斷旅行 (三)

運城から惠山鎭へ

## 大水後始めての交通憲兵
## 五國城と雲淵の碑石
## 宋の皇帝蒙塵の處か

茂山にて 特派員 伊藤韓堂

大水後、始めて憲兵の『交通』のあると云ふ七日午前九時、會寧を出發して茂山に向つた。交通といふは、

### 憲兵隊の隊と

隊とを連絡する爲に一方又は双方から派遣する交通憲兵のことで、馴れない道は此の交通に附いて行くに限る。交通憲兵の立派な亞剌比亞馬の後から怖々跟いて行く我が愛馬の貧弱さ、何とも形容の出來ぬ恰好しながら一足々々會寧川に踏み入ると水は深く流れは急で一足毎に三四尺づゝ流さるゝ。つい深みに陷つて了つて

### あはれ馬諸共

危く一命を墜す所を、ヤツトのことで抜け出して、ホツト一息ついた『會寧川は今日あたりから渉れるだらう』とのことだつたが、實は一日早かつたやうだ。それ以來臆病な馬は水を憚る事甚だしいので打つやら蹴るやらして漸く對岸に渡つた。豆滿江は河に沿うて數十間の間は、畑が流れて高粱や粟が實り色づいたまゝ薙ぎ倒され

### 一齊に匍匐て

居る。崩れた崖や流れ落ちた道を傳うて一里半許り進むと標題外といふ支那に有りさうな地名の村に著いた。村の入口に『朝鮮總督府認可』と書いた大看板を懸けた私立學校がある。學校に認可の看板懸けたのも珍らしいが土地が土地だけに一寸人目を牽く、名は忘れたが會寧川に似て滅法急な流れを渉つて徐々山道を辿つて行く、村の者が擦れ違ひに『炭礦へ行きますか』と聞く、此近所に炭礦があるかと聞くと

### 會寧炭の本場

白土洞は一里許り行つた處だといふことだ。一里行つて振顧つても、二里行つて振顧つても會寧の市街は同じ位置、同じ距離に見ゆるので何れだけ來たか見當が付かぬ。正午、雲頭山の頂上五國城の正門に到著する。眼界急に擴まつて會寧市街は脚下に見え、豆滿江は帶の如く此の山の裾を三方から取卷いて居る。城壁は山の頂上に十尺乃至十五六尺位の高さに築かれ周圍は三里強に達して居る

### 樓閣らしい跡

も二三箇所あつて、又其の礎石や古瓦も山積され、井戸も二三箇所殘つてるやうだ。中央から稍西に近い方面は開墾されて煙草が植ゑられ、粟も實つて居るが其の煙草畑の眞中に小さな破小屋があつて、其處に『雲淵』と陰刻した高さ五尺、廣さ一尺五六寸の碑石が轉がつて居る、此の五國城と雲淵の碑石に就いてはいろ〳〵の説があるが、女眞の居城で今を距る七百年前、宋の末世

### 徽宗帝が蒙塵して此處に歿した

と傳へられ、朝鮮肅宗三十八年、淸の康熙帝が烏喇總管穆克登を朝鮮に派はし軍官李義復、趙台相等と會し白頭山に定界碑を建てさせた時、使臣一行は豆滿江を下つて此の雲頭山に到著し、城外に多くの塚あるを見て土地の人に由來を聞いたが只皇帝の墓と答ふるのみで要領を得ず、人夫を督して發掘し『宋帝之墓』なる短碣を得て徽宗、欽宗なるを知り其靈を慰むる爲め、帝諱の淵の字と崇高の意味を以て雲の字を冠し此の

### 雲淵の碑を建

てたとも云ひ或は雲淵は城池であつて碑でないとも云ひ又雲淵の文字は[illegible]とも云はれて居る。此の碑石は十二三年前會寧居住の小池與吉と云ふ人が村の者から買取つたとも云ひ氏が發見したんだとも云ふが、今は空しく煙草畑に轉がつて居る。

雲淵の碑と其所在地

# 始政記念祭
## いと莊嚴に執行 總督も參拜

明一日は總督府始政記念日なるを以て京城神社に於ては午前十時より恒例により始政記念祭を執行する事既報の如くなるが當日は早旦係員は神殿の裝飾を奉仕定刻谷村齋主以下各齋員給仕は總督、政務總監はじめ各高官内鮮氏子惣代、民間有志等

### 假の幄舎に

著床するをまつて修祓の行事あり奏樂裡に齋主以下殿内に參進著座し次いで谷村齋主は神殿に進みて拜禮、和琴の裡に開扉を奉仕し齋員一同雅樂の奏樂裡に山川の美饌十數臺を獻じ終れば齋主は總督政務總監等の

### 幣帛を奉り

祝詞を奏上し玉串を奉獻し次で總督、政務總監下賜次玉串を奉れば再び奏樂裡に幣帛及神饌を撤し齋主再び昇殿し御閉扉を奉仕し茲に當日の式を終る筈なりと
尚例年李王家各公族殿下より御代拜御差遣ありしも今年は御喪中につき今回は御取止めとなりたりと

# 潜水艦見たまゝ (二)
## 艦形と甲板の諸裝置

初めて潜水艦を見て珍らしく感ずるのは先づその艦形である。潜水艦は鯨が水上に泊つたりする理窟から考へ付いたのださうだから艦形は殆んど鯨其儘である。觀覽者の中には鰹節を浮かしたやうだとか、葉卷煙草を投げ込んだやうだとか種々と形容する者もあつたが何れにせよ大きく形容するのと小さく形容するのとの相違だけで形に於ては先づ鯨に似て居ると思へば間違ひはない。それから外の軍艦と異なつた武器や器械とか甲板の上だけでも可成りある。第一に艦首から艦尾の方に向つて鋭角を描いて二三間位の鋸がついて居る。之れは敵の防禦網を切り破る爲ださうで恰度鮫の歯を露出したやうで薄氣味が惡い。次に無線電信用の二本のマストである。此のマストは艦首に近い方から艦尾に近い方から頭合せに甲板の上に倒してあるが樹てやうと思へば電力で以て二本のマストを同時に起すことが出來る。それから司令塔の上に突出して居る潜望鏡二本の突端には直角三稜形のプリズムが恰度眼の玉のやうに光つて居る。先づ甲板に突起して居て可成りの距離を隔いても、それと識別し得るものは以上擧げたやうなものであるが、

### 甲板に上つて見て珍

らしいと思ふものも少くない。例へば機雷を敷設する孔とか、タンクとかも珍らしいものゝ一つである。機雷を敷設する孔は直徑五六尺位の、圓い孔で艦首に近く六ツほど並んで居る。之は甲板から艦底まで突き抜けになつて居て底の方に海水が覗いて居る。此の六個の穴からは

### 適宜な場所で機雷を落として敷設する

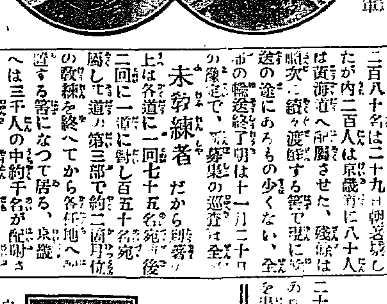
さうである。タンクは乾度艦體の中央腹部の兩側に張り出して其上に魚雷發射管が兩側に二門づゝ備へてある。此の[illegible]ッ腹に張り出した部分がタンクと云ふことを知らない人はその外殼に小さい無數の穴が開いて居るので海水が浸入しはしまいかなどと餘計な心配をさせられるが、此のタンクは自由に海水を吞吐せねばならないと聞かされゝば成程と頷かれる。外から見れば何の仕掛けもなささうだが此の水函には種々な役目があつて艦を沈める主水函、主水函で足らない所を補ふ爲の水を入れる補水函、艦體前後の傾き具合を正しくする釣合水函、少量の浮力を調整する調整水函、石油等の燃料を入れ又多少の釣合を取る燃料調整水函等に分れて居ると云ふことである。

# 眼の張、口の鮑
## 兩雄に會見した後藤軍參謀其印象を語る

時局の爲め重要任務を帶びて滿洲に出張中なりし後藤軍參謀は歸來『僕の觀察には新聞に話しかない』と左の通り語れり
僕の出張任務に就いては話す自由を持たないが滿洲に出張したのを好機とし奉天では張督軍、吉林では鮑督軍に會見して來たから其の第一印象でも語らう

### 綠林出身の梟雄

張督軍を訪問したのは其の私邸である、張督軍は[illegible]日を瞪つて聞いて居たが[illegible]つて見るとさう云ふ豪傑らしい風は無く外見は寧ろ女性に近い方である。年は四十五六の分別盛り、色の淺黑い小柄なほつそりした體格で稍[illegible]み勝ちの如何にも柔和な立派な紳士である。著物は支那の時服を著けて居た。[illegible]紙に宮崎さゆり女史の話が掲げてあつたが、さゆり女史が外交官か宮内官にしたら應はしいと評したのは適評と思ふ。



(右)張督軍 (左)鮑督軍

溫情主義 [illegible]の方である[illegible] (下は明後日)

# 隔ての籬を取れ
## 是が鮮人の眞の叫び
### 井上代議士の土產話

朝鮮農事改良の事業設立用務を帶び渡鮮中なりし代議士井上角五郎氏は廿六日朝下關に上陸直ちに歸東せり、氏は語る『彼の

### 爆彈事件

のあつた翌日の事である十七名の鮮人有力者が[illegible]を兼ねて總督の施政方針を聽取すべく總督府に齋藤總督を訪問した無論爆彈事件のあつた翌日の事であるから總督は或は面會を謝絶されるだらうと思つて居た處が總督は

### 身に寸鐵をも帶びず

[illegible]笑顔を浮べながら『ようこそお訪ね下さいました、さあ何うぞ此方へ……』と[illegible]して心よく面接したので十七名の鮮人有力者は何れも總督の溫情主義に[illegible]

### 隔ての籬

[illegible]

なかつた[illegible]云ふ人を總督に戴いた鮮人は幸福であると非常に喜び[illegible]乍ら引下つたこの話を聞いて余は一層齋藤總督の人格に敬服し欣慕の情を厚うしたのである、余は朝鮮滯在中各方面の鮮人と接觸し鮮人の

### 眞の叫び

を聞いて見たが、[illegible]事理を解する者は何れも斯う云つて居る。朝鮮は日本と併合するのが好いと思つたから併合したので今更獨立しようなんて云ふのは誤つて思ふ[illegible]

### 新募巡査の素質は好い
#### 十一月中には全部到著する

警務局警務課長 國友警視談

新募巡査は[illegible]成績は非常に好成績であつた、第一期の一千名は既に全部到著して僅少の[illegible]練中の者を除く外は夫れ〳〵所轄へ配置済になつた、第二期の[illegible]

### 豫想以上

の應募者を得[illegible]一先づ打切ることにした[illegible]の多大なる努力にもよるが朝鮮なる土地に深く注意を[illegible]諒解するやうになつた[illegible]だらうと思ふ、應募者の素質も極めて良好で比較的

### 智識階級

が多いやうに見受けられる、其第一期の輸送者二百八十名は二十九日朝著城したが内二百人は京畿道に八十人は黃海道へ配屬させた、殘餘は順次に續々渡鮮する筈で[illegible]送の途にあるもの少くない、全部の輸送終了期は十一月二十日の豫定で、應募巡査は全部

### 未敎練者

だから到著の上は各道に一同七十五名宛二回に一道に對し百五十名宛配屬して道の第三部で約二箇月位の敎練を終へてから各任地へ派遣する筈になつて居る、京畿へは三千人の中約千名が配屬される。巡査の增員に伴なふ警部、警部補部長等の任命準備は既に整つて居る。第三期

### 五千人の

大擴張は目下直ちに着手すると云ふ譯には行かぬ。憲兵からの轉職者は約千三百、で[illegible]

### 有難い注射
#### 證明書
##### 檢疫を許される

水原城檢疫所に於ては同驛及び以北各驛乘車旅客は檢疫の爲め一晝夜又は一夜同所に停留せしめ居りたるが檢便及び豫防注射證明書所持者は停留檢疫を受くるに及ばざることゝなれり

### 乘車券制限

忠淸南道管内防疫上の措置として大田驛よりの乘車旅客は當分の内檢便證明書所持者又は二回の豫防注射を受けたるものに限り乘車券を購入し得ることゝし其他のものは孰れの方面へも乘車を拒絶する事となれり

### 廊下には衛兵が
#### 儼然と立つてゐた

[illegible]の應接間である、[illegible]が巧い連中に通されたのは第一の應接[illegible]待つ事數分張督軍は從者も伴なはずしとやかに這入つて來て先づ十分に握手を求めた、其の手は柔かく且つ溫かであつた、彼は一言余一言、冗言は一言も發しない、鮮人も極めて穏かであるが其眉宇には精悍の氣が溢れて居る。卓上にはブランデーのコップと紅茶と西洋菓子とが並べられた應接間の裝飾は支那の色彩よりも西洋風の方が濃厚であつた

### 鮮人の騷擾事件

に關しては深く日本に同情を表し自分が奉天督軍として任にある間は如何なる事があつても管内から不逞鮮人を出さない十分嚴重なる取締を勵行して事を未然に防ぎ度いと底力のある調子で語つた。自分が軍と見て最も感じた事は眼の力である、督軍の眼は如何なる人をもチャームする力と光を有してゐる、人は大局を觀るに明かで小事には少しも[illegible]

### 女性の如に柔和
#### ＝であるが一度決心し＝

たら何か命令でも下す時には瞳孔は爛々と人を射るさうである、部下の者は何れも威壓されて頭を上げるものもないと云ふ張督軍は色が淺黑く細い肩で狡い點が巧に反し鮑督軍は非常に體格が良い處、形の背の高い色は黑方かと云ふ黑い方で年は四十前後總て謹で無造作で十年の知己にでも會ふやうに

### 鮮人の取締りを
#### ＝嚴重にし不逞鮮人に＝

對しては寸毫の容赦もしないと非常な意氣込みであつた、雨督軍とも日本に對しては多大の好意を表して居た、前の孟督軍は

### 警官消防の教練

京畿道警務部では卅日午前九時より警察官消防隊が防疫の為め集めて訓練を行つた先づ消防隊が喞筒、梯子、水管里の操練を順々に實施し次いで警官隊は二大隊に編成され(六小隊二中隊)先づ本町署の長岡中隊から小隊敎練を初め逐次行進、縱隊變換等の諸敎練が行はれたが各小隊の執銃敎練は却々立派な出來榮であつた最後に騎馬巡査の乘馬敎練が行はれ午後からは市内の行軍をやつた、此日警務局からは丸山事務官が來て親しく敎練振りを視察し山下警部は『暫く斯した敎練をやらぬので駄目です然し之でも一二同やれば大丈夫です』と語つてゐたが其歩調と云ひ動作と云ひ軍隊に比しても聊かも遜色がない程であつた

### 虎疫?
#### 舊龍山に

臨川より仁川を經て漢江を溯江せる鮮人龍山警察署にては虎疫發生以來防疫に盡力しゐたるが三十日家に一名の疑似患者を出すに至り患者を抱川郡より筏に「臨川」を下り仁川を經て漢江、湖江に來りたる鮮人にて二十九日夜半より吐瀉を始め苦しさに堪まらず舊龍山に達し[illegible]終點林木置場まで辿り上り苦悶中を三十日朝發見し疑似虎疫として順化院に收容したり直に附近は大消毒を施したるが檢鏡の結果虎疫と決定せば漢江漁撈遊水等は嚴禁すべしと

### 傳染病

明治町二丁目四十六番地細路小學校生徒瀬口ふみ(八)は二十七日猩紅熱に罹り順化院へ收容され同小學校は大消毒を施されたり▲永樂町二丁目十七番地丸岡文治(二五)は廿七日赤痢にて總督府醫院へ▲初音町百三番地甘比愛(三二)は二十八日腸チブスにて村上病院へ▲大和町二丁目二十四番地源宏(三)は二十八日赤痢にて總督府醫院へ收容

### 頓馬な強盜

府内西四軒町二丁目十七番地金晟顯(三二)は生計に困[illegible]の爲いつそ强盜でもせんと思ひ[illegible]起し[illegible]上洞八十一番地、姜顯[illegible]勤務[illegible]七十一番地[illegible]產家[illegible]宗國方の[illegible]實家の八月三十日夜兩名共謀し[illegible]はん[illegible]八十[illegible]本町[illegible]店にて竹刀、[illegible]蠟燭、手拭等を買求め八月三十日夜兩名共謀し[illegible]の竹刀を持ち支那帽を冠りし變裝して[illegible]宗國方の裏門より忍び入りたるも家族が未だ就眠しやすそ〳〵話聲のするより兩名は躊躇し互に侵入を譲り合ひたるが遂に終にコソ〳〵と引返し裏門を出でたる處を御用となり繩を打つ張られ取調の結果强盜未遂として二十九日檢事局へ送らる

### 列車内で吐瀉
#### 松汀里に隔離

二十九日午前六時大田發木浦行第三〇六列車が松汀里驛に到著するや乘車木浦行き三等鮮婦人旅客一名は俄に吐瀉を催し虎疫の疑ひあるを以て同乘客十六名は松汀里驛に下車せしめ患者は檢疫後に完全せる木浦に下車收容せしむべく其儘乘車出發せしめたりと

### 郵便飛行
#### 記念スタンプ

東京各局で使用
東京、一、二等局に於て郵便飛行記念切手スタンプを押捺す可しと(東京電報)

### 鹿兒島の大火
#### 百餘戶燒失

二十九日鹿兒島市易居町に大火あり百二十二戶燒失し死者三名を出せり(東京電報)

### 永登浦は陰性

二十九日京釜線列車中にて虎疫の疑ひありて永登浦に隔離せる婦人は檢鏡の結果陰性と決定[illegible]同乘旅客[illegible]十二[illegible]共に解放されたりと

### 各町夜警開始

本町、明治町、永樂町、旭町、黄金町、初音町にては例年の通り十月一日より翌年四月末迄火災豫防の爲め夜警を爲すべく同業し三十日各町總代より本町署に願出でたり

# 庭球界の人々 (一)

京城櫻井小學校訓導 立見太郎君(大和)

大和倶樂部は京城庭球界の草分である、十餘年前から引續いた歷史を輝かしてゐる、京城庭球界は大和倶樂部に育成されたと云ふても過言ではない、現在の同倶樂部で光つた人は前衞立見、後衞池原の二君である立見君が庭球界に現はれたのは京城に於いてとも云へるがラケットを握り初めたのは中學の二年級當時からである、君は明治廿一年茨城縣水戸市に生れ水戸中學から茨城師範に轉じた、水戸中學時代には飛田、大井と云つた野球界の巨頭と水魚の交があつたさうな、從つて野球も嗜々たる大選手の腕前があり、曾て漢陽野球團の正選手として鐵腕を揮つてゐた、中學時代先輩の高崎選手岡村、川上二氏の二君にコーチを受けたのが初めてで、茨城師範に轉じて後は同校庭球選手として勝を占めたのである、大正二年京城に來て大田氏に從つて京城庭球界に頭角を出したのである、爾後日の出校のコートで猛烈な練習を續け、京城ボーイスの覇者であつた、大正四年京龍試合に優勝し大正七年の優勝旗爭奪戰にも優勝してゐる、嗜好は野球其他一般の運動である、櫻井小學校第一の運動家として内外共に評判が善い(現住所は南米倉町)

### 給仕採用

履歷書携帶本人來談の事
京城日報編輯局

### 行倒れ

住所姓名不詳鮮女(推定四十五六歲)が赤橋町道路に打倒れ死亡し居るを近所の者が發見し花園町派出所に屆出でたるより仔細醫師が道檢視したる結果病死と判明屍體は引取人なき爲め府廳に引渡さる

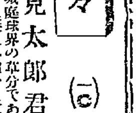
### 日誌

◎日韓研究 日韓の研究會は一日午後一時より明治町三丁目普通學校樓上に於て第八回例會を兼ねたる諸氏の講演あると

▲內務局長、我謝護士安住時太郎氏▲總督府視學官大島萬次郎氏▲總督府敎育司官吉見通泰氏

◎十月少年一部 四十二年度(?)學齡兒童隊長[illegible]し五十有組少年の[illegible]二十五日東京市芝區西小川町一の十二番地に於て[illegible]

### 灯頭



◇赤池務局長の姓の讀方はだ[illegible]アカイケが眞個だらうアカチだと書いても本欄に[illegible]

◇序に何うかこ[illegible]から二通りに呼ばれて困るさうだから訂正する▲序に司の名前、恐らくはアッシと讀むのださうで[illegible]氏の部下でさへ知らぬ人が多い▲白上高等警察課長は老人亭のお化官舍を[illegible]つて倭城臺の伊藤秘書官の隣へ引移つたが『よく無事でしたね』と言へば『二十何人の同勢で押し寄せたので魑魅魍魎も飛出す機會を失したのだらうウハ、、』と高笑ひした其元氣々々


# 家庭顧問
婦人日常の手引

十月號

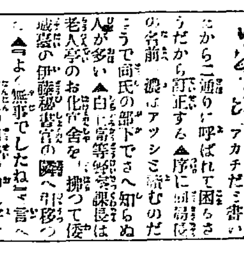
本誌獨特 化粧の研究 白粉を美しく附ける秘訣 秋口に於ける皮膚の手當 衣服に引立る化粧 淋しい顏の化粧 ネルとセルの着物と帶の
[illegible]

◎懸賞募集 締切[illegible]

每月一回一日發行 定價 一部金三十錢 半年金一圓七十錢 一年金三圓四十錢
東京市麴町區上六番町二六 發行所 家庭顧問社



宮内省御用達



サクラ正宗

兵庫縣灘魚崎 山邑太左衞門釀造
櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店
電話長八四九番、一四五番 振替貯金口座京城一五〇番



來る十月一日、始政記念日に付祝意を表す爲め臨時休業仕候
九月三十日
三井物產株式會社仁川支店



金剛はんちゅう
發賣御披露の爲め
半額デー (定價五錢 割引二錢五厘)
十月一日より三日間
一日貳千個限り(但御一人二十個迄)
京城本町貳丁目
龜屋
電話二四七番



來る拾月壹日は始政記念日に付祝意を表する爲め臨時休業仕候
九月三十日
株式會社 仁川米豆取引所


江景の虎疫

入場券で乘車

裡里

曇後晴

……主人の留守を窺ひ……（七）……手配中逮捕され取調の結果二十九……を窃取して費消したるも目下檢事局に送らる

第五版

# 阿弗利加蕃地探檢（六）

ランパス神學博士講演

彼の妻は疑ひもなく豹に喰はれたのである。彼は妻の肉片を抱いて慟哭して居たが暫くすると身仕度を整へ肉片を懷に入れ一つの刀を携へて血の跡を辿つて走つた。さうして適當な場所に身を潛めて待つて居ると翌朝二時頃になつて豹が其處へ現はれた。彼はいきなり刀を振り翳して豹の行手を遮り茲に豹と大格鬪を始め遂に豹の急所を突き刺したが其の途端彼も亦肩先から腕にかけて引裂かれて仕舞つた。彼は妻の仇討をする爲めに自分の命を捨てたのである。矢張り此の地方での出來事である、私が其の村の酋長から護衞兵として附けて與れた二人の土人と共に寢て居ると夜中に突然土人が悲鳴を揚げるので私は直ぐ銃砲を提げて駈つけて見ると一人の土人が血塗れになつて倒れて居た、所が其の外には何にも居ない一體何うしたのだらうとだんだん調べると是れは十人の熟睡して居る所へ豹が襲つて來て喰ひ殺さうとしたが土人が邊に大聲を出したので豹の方が吃驚して逃げたものと思はれた。其の翌日私は罠を作つて身長十一尺もある大豹を捕獲した。私の阿弗利加で見聞した珍らしいことゝ云へば大概此の位のことである。元來私がコンゴーへ行つたのは單に探險と云ふ目的ではなく土人に基督教を宣傳し彼等を幸福に導く爲めであつたので一行の中には醫師看護婦敎師農業技師も加つて居た。私等の手で土人を治療した數は一萬人に達するが其中で一番多いのが睡眠病である、是れは或る蠅に螫されて起る病でヒドくなると狂人になる、又或る地方では此の蠅の爲めに牛馬が全部斃死したさうである。私等は二箇所に學校を建て、土人を敎育し彼等の言葉を表すべき文字を拵へてやつた、其の言葉を一二紹介しませう『マイ』は水のこと、『モヨ』は人と路で出會つた時の挨拶の言葉で直譯すれば生命、お前は生きて居るかと云ふのである。又私等は常に六十人乃至百人の團體になつて旅行したのであるが一行が一つの村に入る際には先頭に立つて居る者が必ず『ブル……』と猛獸の吠る樣な奇妙な聲で叫んだ是れは土人社會の作法である。（終り）

## 西伯利亞の過激派近狀

沿海州方面に於ける過激派は概ね平穩なりオリガ、チエチユへ附近には約一千の過激派軍ありチエチユへの鑛山を占領し彈藥を製造しつゝあり黑龍州に於ける過激派は八月末に

### 一齊蜂起

し鐵道電線橋梁を破壞したる事ありしが我軍一部の交代輸送を偵知して妨害を企てしものと察せらる其他の暴徒も暗々裡兵員人馬の統一に餘念なく武器彈藥糧秣の蒐集に努力しつゝあり來る可き一大飛躍の準備と思はるゝものあり次に後貝加爾州に於てはシルカ兩岸の過軍は勢力刻々に熾盛を加へつゝあり該方面總勢力約二千に上るボグダツドスカヤ方面の過軍亦依然優勢を維持し此方面に向へるセミヨノフ軍哥薩克聯隊第一第二第四第三相次いで

### 反逆して

之に內應するの狀勢なり以て過軍の優勢知るべきなり貝加爾以西に於ては烏拉爾方面の戰況不振の爲め一時擾頭の兆ありてイシム河畔の戰を控へたるオムスク軍には兩大なる脅威たりしが今や落凹にチエツク軍の爲に逐ひ討伐せられつゝあり而してミヌシンスク及びビイスク南方の過軍は盛んに掃蕩せらるゝに到らずニヂニウヂンスク附近の過軍は約四百五十名の人員に依り編成せられ又イルクーツク西方なるチリマ驛の東に在る監獄は九月十二日過軍約百五十名の爲に襲はれ二千の過激派囚人を解放したるミヌシンスク南方の過軍の兵力約三千砲二機關銃四十を有す

### 三縱隊と

なりてミヌシンスクに向け進軍中なるも士氣衰微せる露軍の能く之を阻止し得るや否やゝ疑問なり加ふるに在西伯利のチエツク軍は近來更に戰意なきに於ておやマーリンスク及びトミ河左岸の地方には五百餘ビイスク西南方に八九千の過激派軍あり之に對し反過激派軍が殲滅の成算の有無之れ亦大なる疑問なり要するに今や西伯利各方面に於ける過激派軍は牢乎たる勢力を据ゑ日増しに其の勢力を增加しつゝあるに反し政府軍が痛く凋落の色あるは近き將來に於て西伯利に波瀾を捲起すに至る前兆ならん乎

## 木材取引旺盛

鴨綠江の流筏は目下其最盛期にして日々百數十臺の流筏を見つゝあり安東側に於て本年の流筏豫想は約五千五百臺、營林廠二十八萬尺〆民間側に於て略同數なるべく既に木材の筏の到着も豫想付きたる所にて價格の變動も當分なかるべきかと思はる、安東側にては本年の新材は紅松少く、杉、松、落葉松等も例年に比し何れも小形にして製材原料として賣買するには手頃なるも天津、上海への輸出向きとして良材と見るもの多きが如し隨つて良材の需要者に有力なる材料にして沙河鎭に下る三四割高の見込み立ち昂騰の見越にて賣約成立する有樣にて一時に賣買盛んなるを觀めつゝあり安東材は目下著筏の一時に激增したると仲秋節の節期眼前に迫りたると相待つて、加へて銀高等の三拍子により幾分下押すべき弱材料あるを有するに拘らず價格は依然强含みにて急に價格の變動を見るが如き事はなかるべしと觀測さる尙天津方面の需用は優良材の缺乏に拘らず買氣頗る旺盛にて常に船腹の不足を告げつゝありと（安東縣）

# 北滿の大森林　無盡藏の木材

某氏談

滿洲にて材木の需用盛んなる地は何と云ふても大連である同地より以北に於ける一箇年の需要高は約一萬貨車、昨年は鴨綠江材の搬出殘りの外不成績にて殆ど想額の三分の一位のものと北滿材も是に伴れて出材甚だ不良に終り北滿材の輸入に大部分を俟つ狀態であつて從つて市場の價格は不廉を免れなかつた、然れば例年吉林及び哈爾賓以北より搬出する木材は南滿洲に於て何の需用を充つるかと云ふに僅に一箇年二千貨車を出ない即ち全南滿需要額の五分の一を漸く搬出して市場に現はすと云ふ次第である由來北滿の地は無限の大森林の木材と稱され居るも搬出上の不便は獨り輸送機關の不備に其くは言ふ迄もなく殊に最近に至りては東支鐵道より充てらるゝ材木用貨車は一日僅々五輛位の少數に限られたる始末なれば如何に豐富なる在木地を控ゆるも活用の途絕へたるに等しい譯である、且つ木材は原産地に於ける價格は甚だ廉なるも輸送運賃の高率なる結果供給地に到達せる時は驚くべき高價なるものとなりて現はれ需要者側をして

### 北滿材は高價

なるものゝ思はしめ長尺の特長あるがを望めるも、故に其必要に應じて長大のもの他は多く北海道材の廉なるに需要を傾くるは必然な事とは謂ひながら北滿材の爲めに甚だ遺憾なる次第である即今に於ける北滿の木材搬出賃を述べるなら横道河子驛より寬城子驛迄一貨車の運賃金の百廿圓にして更に長春より滿鐵線を大連迄が百四十圓程なれば此の運賃のみにして既に二百六十圓の額に上ればこれを一才角材に割充つれば大連著の上は山元價格の六十倍强に當たりて北海道材と價格に於て對抗し出來ぬ相場となるのである只材木は

### 運賃高底關係

のみである去らば水運を利用して松花江の下流域の森林を伐せんとせば同江の本流域に少く支流域に相當の森林あるも是を伐木の上水運に依つて哈爾賓に著したるを更に鐵道便に依らんとせば東支鐵道の均一法の運賃率に依れば先に云ひたる横道河子よりの運賃と大なる差なく矢張り十……要する……あるから結局水運に依て來る木材は哈爾賓の需要を滿たすに過ぎずして南滿の需要地に輸送せんとせば

### 不完全にして

且つ高率なる運賃を以てするの外ないのである併しながら北滿の森林は至る處に存在するは事實にして是が輸送方法に改良を加へ東支線の運賃率と南滿線の輸送賃率に相當の割引制を設ける事にならば北滿材も前途甚だ有望なるものがある而して現下南滿の需要の僅に五分の一を供給しつゝある點も其施設と經營に意を用ふることあらんか遠く海外に販路を求むる亦難事業にあらざるべし世の進歩と共に材木の需用は益々增加し年々伐り盡し行く北海道材に變るべきは一の北滿材であらねばならぬ

## 新義州の著材　本年の豫想

新義州に於ける昨年の流筏到着數は營林廠二十八萬尺〆、朝鮮紙、石崎、横江、三井、荒木其他民間約二十九萬一千尺〆なりしが本年は昨年に比し殆んど大差なかるべし營林廠は去る二十二日迄に到着したるもの十七萬尺〆にして同日中江鎭を通過した總數は二十二萬尺〆なりと云ふに依りて見るも來る十月中旬迄には二十七八萬尺〆內外なるべし又民間に於ても流筏到着するもの朝鮮製紙約十三萬尺〆、石崎、朝鮮木材、三井物産五萬尺〆、江其他を合して十萬尺〆合計二十八萬尺〆內外なるべきかと云ふ（安東縣）

## 賃銀値上內容

來る十一月中旬より實施すべき滿鐵の賃銀値上は現今の一哩一錢七厘を二錢四五厘四割强旅客運賃を三等約二割一二等約三四割に値上せんとするにあり之に依りて得べき收入の增加は急行車の增發社員の增俸等に充當すべく社員の增俸は本年內に斷行し其額は平均約五割なりと尙ほ今回の大連の特定賃金は營口及び安東縣に比し二三割の低廉なるが然も大石橋以北各驛と大連營口との賃金は一車に付き二圓低廉にて奉天以北各驛と安東縣間の賃金にして大連指定賃金より高きものは大に後者と同樣引上ぐべし又營口における貿易の發展を期する爲め港灣の修築埠頭設備を爲さんと計畫にて目下設計中なり

## 特産物荷動

安東市場に於ては去る十五日頃より特産物の取引盛んに行はれつゝあるが去る二十七日迄取引の行はれたるは豆粕二百五十萬枚約六十五萬圓、豆油二十三萬斤六萬五千圓、柞蠶絲二百九十捆二十九萬圓等にして約二週間に百萬圓內外の取引を見たり木材は銀高の關係上對日本商人の取引は捗々しからざるも天津方面の支那人間の取引は可なり繁忙を極め前記二週間の間に汽船六隻分一萬六千石內外の取引ありたりと（安東縣）

## 安東製粕能力

安東縣に於ける豆粕製造能力に付某有力商店の調査する處を聞くに製造戶數十八戶內二戶日本人にして馬力は三百二十二馬力一箇月の最大製造能力は九十五萬枚なるも休業其他の關係により現在一箇月の能力は四十二萬枚なるも原料其他の關係により一箇年の製造高は四百二三萬枚なるべし內六十萬枚を朝鮮に三十萬枚を上海に輸移出したる殘部は凡て日本へ仕向けらるゝものなりと

## 滿洲銀行認可

久しく出現を傳へられつゝありし滿洲銀行は未だ實現を見ざりしが滿洲銀行は資本五百萬圓此程愈々大藏省より認可の指令ありたり

## 鎭江山の初茸

秋草咲き亂れる安東縣唯一の公園たる鎭江山には目下秋草咲き亂れて草紅葉見頃なるが後方の松林には初茸簇生し少からず子女を伴なう初茸狩に出かくる者多く散策の客も漸く紅葉して本月末頃には好個の見頃なるべし（安東縣）

## 鳳凰山の紅葉

安東線鳳凰城の鳳凰山は紅葉の名所として有名なる處なるが今年も最早時期近づきたる爲め全山の綠葉漸く紅を潮し來り本月末頃は滿山の紅葉燃ゆるが如きものあらんとの便りありたり安東地方よりは午前六時何分の混合列車にて出掛くる時は山上の紅葉を賞し同日午後三時過ぎ午後五時二十五分安東著列車に歸東する事を得べし時は郊外散策の好期健脚の士は奮つて登山あつて然るべし

## 石灰を賣る支那人

コレラ消毒に用ゐた

虎列拉流行中哈爾賓停車場及び患者の發見されし場所には多量の石灰を撒布したる所支那人は該石灰を收集めつゝあるを目擊したり此の如き行爲は家屋を塗る目的を以て……危險なる事なれば當局の注意を要すると共に各人も此際支那人より石灰を購ふは危險なり

# 商況

## 株式

### 東京現株（至急電報）

▲印騰貴　△印下落

| 銘柄 | 拂込 | 三十日中値 |
|---|---|---|
| 鮮銀 | 一〇〇・〇〇 | ▲二六二、〇〇 |
| 同新 | 七五・〇〇 | ▲二三五、〇〇 |
| 京電 | 五〇・〇〇 | …… |
| 東拓 | 五〇・〇〇 | …… |
| 同新 | 一二・五〇 | …… |
| 殖銀 | 五〇・〇〇 | 一〇二、〇〇 |

### 大阪株式（至急電報）

| 銘柄 | 三十日前場寄付 | 二十五日後引比較 |
|---|---|---|
| 大株 | 四三五、〇〇 | …… |
| 同新 | 四二一、三〇 | …… |
| 郵船 | 二八五、三〇 | …… |
| 同新 | 一六三、〇〇 | …… |
| 商船 | 一八七、〇〇 | …… |
| 同新 | 一五二、八〇 | …… |
| 鐘紡 | 四一八、九〇 | …… |
| 同新 | 四〇〇、〇〇 | …… |
| 東紡 | 三一〇、〇〇 | …… |
| 東糖 | 一七七、八〇 | …… |
| 堂米 | 一九〇、七〇 | …… |
| 上取 | 一六九、九〇 | …… |

### 京城現株（標準一段）

▲印騰貴　△印下落

| 銘柄 | 拂込額 | 時價 |
|---|---|---|
| 仁取 | 二五・〇〇 | 一五三、五〇 |
| 朝郵 | 二五・〇〇 | 四二、〇〇 |
| 電興 | 二五・〇〇 | 一九、五〇 |
| 皮革 | 五〇・〇〇 | 二六、〇〇 |
| 東畜 | 一二・五〇 | 一五、〇〇 |
| 朝紡 | 一二・五〇 | 三一、五〇 |
| 朝紙 | 一二・五〇 | ▲三六、〇〇 |
| 商銀 | 五〇・〇〇 | 五八、〇〇 |
| 同新 | 一二・五〇 | 一八、〇〇 |
| 滿毛 | 一二・五〇 | ▲六三、〇〇 |
| 滿糖 | 一七・五〇 | ▲四六、〇〇 |
| 朝煙 | 五〇・〇〇 | ▲三一、五〇 |
| 鮮鐵 | 五〇・〇〇 | 七二、〇〇 |
| 鮮土 | 一二・五〇 | 二三、〇〇 |
| 東亞 | 一二・五〇 | 四四、五〇 |
| 葉貨 | 一二・五〇 | 三六、〇〇 |
| 仁倉 | 一二・五〇 | 一五、五〇 |
| 製粉 | 一二・五〇 | 一九、〇〇 |
| 營口 | 一二・五〇 | 一五、五〇 |
| 朝綿 | 二五・〇 | 二二、五〇 |

### 出來高平均値

| 銘柄 | 平均値 | 出來高 |
|---|---|---|
| 朝鮮紡織 | 三二、〇〇 | 四三〇 |
| 東拓新 | 八二、〇〇 | 六八〇 |
| 朝日釀造 | 一五、五〇 | 三五〇 |
| 滿鐵二回 | 一四四、〇〇 | 二五〇 |
| 商産銀行 | 一〇五、〇〇 | 五三〇 |
| 大株 | 四二七、〇〇 | 三〇 |
| 同新 | 四一〇、〇〇 | 二〇 |
| 滿蒙毛織 | 六三、〇〇 | 三四八 |
| 東亞新 | 四四、五〇 | 三九〇 |
| 南滿製糖 | 四六、五〇 | 五五〇 |
| 朝鮮製紙 | 三六、五〇 | 五〇 |
| 京電新 | 二五、五〇 | 八〇 |
| 朝鮮煙草 | 三二、二〇 | 五〇 |

### 大阪高寄付

今朝北濱市場は諸株一齊に昂騰し大株四百三十五圓大新四百二十一圓三十錢鐘紡四百十八圓九十錢新四百圓丁度東紡三百十圓を寄付居れるが內地株は郵商間の配當一般株主の豫期に添はず今期の模樣あるも海運界の前途を許さゞる爲めならんかと觀測さる

### 鮮銀株高し

朝鮮銀行株は二十七日東京に於ては舊二百五十六圓新二百二十六圓に出來せる後漸込模樣の如く本朝に入りては舊二百六十二圓新二百三十五圓を報じ當地最近拂込前の出來値に比し六圓方の昂騰なり

### 滿蒙見越買ひ

滿蒙毛織は東京毛織と共に益々好勢となりたる以來二十八日休會中の內地の六十圓から二十四圓迄に落ち付き强硬を傳へて尙一段高を見越して六十二三圓迄を極め中に買進み更に十五圓迄の商內も行はれたり

### 諸株利廻り（上）

金利騰貴と逆行

去月末以來金融界の趨勢は一轉して著しく引締り今月末に於ける決濟資金の如きも日歩二錢一二厘を以てする程にて金利の騰貴と新事業會社の勃興は資金の需要を益々繁忙ならしめ騰貴を更に助成しつゝあり金利は斯の如く騰貴したるも株式市場は何等惡影響を受くる處なく諸株は時に波瀾ありたるも一齊に猛進せり論理上金利の騰貴と共に下落すべき株式の市價は反對に騰貴したる爲め株式の利廻りは低下するに至れり……（以下略讀不能部分あり）……船株は海運界の前途に一導の暗雲ある爲めに何れも配當の增加は望み難く……前月末に比し利廻りは低下せり

### 仁取株盛返す

仁川の大商內

仁取株は當地取引所問題や各銀行金融引締め其他合同の利益配當如何を懸念して利喰急ぎの振合ひ小商ひは相當の取引行はれし模樣なるも何等の不況に陷入らんとせず寧ろ著しく本月上旬に比し上値を見越し居れるが如く氏二十五日騰仁取株の朝安に乘じ百五十圓に百株買ひを始めとして百五十圓二三百株買進みしが忽ち人氣盛返し目の如きは五十圓より五十四圓見當に崛起し大阪現物一名に右百五十五圓方の買氣を挽し居る計り買物一巡の振合に出で値は小口筋は容易に崩れたるも中四百株計りは手放さず種々苦心の結果四百株計り出來たるも目下仁取株は無の狀態にて一段高値に出來ざれば商談出來まじく好勢を示し居れり（仁川）

### 朝鮮煙草氣丈

朝鮮煙草は東亞煙草の伸惱み居るに拘はらず東京筋手方の買注文絶えざる由にて獨り好勢を維持し三十二圓二十錢の商內ありたり

### 朝鮮製紙上向

朝鮮製紙は最近高値三十五圓四十錢にて八十五枚の取引を見たり刺戟されて氣丈の成行を呈し三十六圓五十錢の手合せあり中値一圓五十錢方の上向なり

### 京城電氣昂騰

京城電氣株は最近舊株六十二圓處の取引ありしが昨今稍化したるもの如く某所入電は新株二十五六圓を報じ三十四圓方の昂騰を示し五圓五十錢上騰せり

### 上海取引上騰

上海取引所最近の業績は頗る好況にして日々の商內高株式八九千綿系一萬四五千捆に達し本期配當年七分なりとの噂ありて買物を呼び本日六十九圓九十錢の高値を入れ前電に比し四五圓方上騰せり

### 滿糖合同氣構

南滿製糖株は一般紡績株の立直りに氣構へある機を窺ひ水港との合同說を唱物に最近買氣を煽り居れるが某所には五十圓買の入電ありたるやに四十八九圓處を呼び六圓より七圓迄の手合せ五百五十枚の多きに達したり

紡織株に至りては特に著しく騰貴し富士紡の一割配同新の七朱、鐘紡の八朱五厘、同新七朱三厘、日清に至りては五朱八厘、東洋新七朱强、同新五朱九厘といふ薄利廻りを見るに至れり勿論紡績事業は將さに流行兒として斷されつゝある勞働問題の追害よりする打擊を事業の擴張によつて之れを補塡せんとの計畫を立つる者多き際なれば其の擴張に伴ふ資本增加のプレミアムを見越せる者ならんも、此等は果して著實なる放資家として歡迎すべき事象なりや如何資本は增加する、生産能率は激減を免れざる遠き前途に想到する時は有頂點の思惑は稍々危險を感ぜざるを得ず砂糖株も一般に利廻り利率の低下を見たり、之れ一時極度の悲觀に陷入りたる糖價の稍や恢復したると、惡性の買玉が前月末に於いて殆んど一掃を見たる爲めにもよるべしと雖も大體は今期の增收見越しに原因するならん

# 米況

### 東京期米特電

| 三十日前場 | | |
|---|---|---|
| 寄付 | 當限 | 納會 |
| | 中限 | 三十八圓八十七錢 |
| | 先限 | 日後明 |
| 高値 | | 三八、五九 |
| 安値 | | …… |
| 止め | | …… |

### 大阪期米特電

| | 三十日前場 | 二十九日後場 |
|---|---|---|
| 當限寄付 | 納會 | |
| 中限寄付 | 四十一圓〆 | 五錢 |
| 寄附 | 三八、九九 | 三八、九一 |
| 高値 | …… | 三九、二〇 |
| 安値 | …… | 三八、九一 |
| 止め | …… | 三八、九一 |

正米變らず

### 神戸期米特電

| | 三十日前場 | 二十九日後場 |
|---|---|---|
| 寄付 | 三八、七一 | 三八、四五 |
| 高値 | …… | 三八、八四 |
| 安値 | …… | 三八、八四 |
| 止め | …… | 三八、八四 |

正米變らず

### 仁川期米

三十日前場　當物一巡高

今朝天候晴天大阪地入電未著なるも前日の大阪止高に買方の氣勢好く勝して公定買ひの從も盛なるが先四十一圓當限納會中出ざりしも活躍一巡人氣依然好沸騰し十錢と十三丁高に寄付六十錢より十錢方反撥せしも軟派の防戰に遇ひ小口手詰め七十錢見當の買方に現れて六十八錢と下せしも各店よりの買物に消化され透さず買進み七十錢と混戰裡に一節を引く

▲第二節　當限納會中出來ず先七十五錢と目先利喰ひに伸惱み軟派の防戰と弛みしも中限は利喰せに固持せ買方一派は押目買に二錢引

▲第三節　中四十二圓七十錢先七十三錢と下押し鮮人筋の賣に六十五錢と返し六十九錢と持合ひに七十錢引

▲第四節　中七十錢先七十二錢より六十八錢と賣惡は買方相變らず買進み七十錢と進き五節引

▲第五節　中皆目出來ず先七十錢より鮮人賣の旺盛に六十九錢と弛み㋖㋣因力の手持買に七十二錢と締まり七十錢と既合ひに納合せり

### 京城正米市場

近來底意强硬の裡にも眼先新米の好勢移りに一點より兎角相場の伸力鈍ふかりし市場正米も內地相場は强いて買進まんとする向なきも必張りて高値を持ちて手放さず……中は強いて買進みをせず高値を掴むは季節柄大に警戒を要するか如し

一錢方引締まり今朝は地場より二三十錢方引締まり相場は昨日より四十一圓八十錢より二圓ちしが月初二十錢見當を唱へられ新市の成行きにより騰落は何れにも變するや測り難く當分新米の出廻に推移しつゝあるが早晩今日の反動來るべし迷の姿なり午前中の出來高は地掛四十一圓二十石四十錢四十石四十一圓九十錢四十石四百石四十一圓八十錢五十錢三十叺にて何れも小口取引のみなりし

### 買力勢力集中

此一兩日は阪地の騰落を無視し場面保付の狀態となり小口買方をして漸々嫌氣を催ふさしめしが手詰急ぎに買玉全部を肩代りせし買方一派は殆ど十六萬石の買玉を擁して臨むで逆轉的に騰進せんとし其氣勢甚だ侮り難く一面鮮人筋の總買關係よりして地場筋は餘儀なく此邊買つて出でんとする傾向ともあり買方としては愈々有力者の手揃ひを待つのみ飽迄軟派の渡し米蒐集難の足元に附込まんと策戰意らず場面は漸次現實戰に移り來れると同時に手詰めを急かす却つて利乘せに押目を狙らひ買安心の態度あり

### 臨時休會

仁川取引所は始政紀念日を祝する爲め十月一日臨時休會す

### 市場雜觀

月末接近に連れ軟双方の攫入れ深甚であるが此勢力伯仲せるが爲め却つて相場の伸縮を妨げマバラ筋の手振り位では容易に動かぬ事になり自然商內も閑散の已む無きに立到るのであるが硬派として安値は透かず防戰に買進み場面を支へるので昨後場の如きは阪地の移りも無視して著に三十錢臺に集付き幾分小口買方の嫌氣煎れの傾向で間際は存外場面を賑かし打止めたが併し高値は軟軍の防戰と小口買方の手詰に追され仲力鈍きと手仕舞への鮮人筋の買提灯は殆んど現在の取組に對する▲買玉は全部有力者傾向なると▲筋の振合にて幾分損切の關係上手仕舞なれば中限に廻り上げんか又何かの動機を狙らひ頻動資建米を殘せる有樣は……

▲相場　公定
三十日前場
| | 寄付 | 高値 | 安値 | 止め |
|---|---|---|---|---|
| 一節 | 四一、五〇 | 四一、七〇 | 四一、六〇 | 四一、七〇 |

| 一節 | 二節 | 三節 | 四節 | 五節 |
|---|---|---|---|---|
| 四一、七〇 | 四一、七一 | 四一、六九 | 四一、六九 | 四一、七〇 |

本日出來高　廿八萬八千六百石

◇値段（中限・先限）　四十二圓七十錢　四十一圓五十錢

### 白米徐々引締る

白米移出口は一兩日前大阪沖著て五十三圓にて百餘石の商談纏まれしも以來信州方面よりは五十四圓處迄望み來れるが原料の上向きを眺め引受け躊躇の有様なれば新規商更に進まず市中卸値も採算上漸次引締まりの傾向にて今朝は五十四圓三十錢見當を唱へられ眼先尙强調の模樣あり

### 支那粟減切高

支那粟は正米の上向き步調と先物思惑高に刺戟せられ現物に對する手唸きの賈望み非々起りて此一兩日來人氣減切り持直せり今朝は海城物十七圓二三十錢を唱へられ最近の安値より一圓二三十錢方跳ね返したるが市況の調子付くに連れ賣急ぎを見透かされし手持筋も態度一變の模樣あれば眼先今一段の引返しあるべし

### 仁川正米市場

頃日來內地正米の頓挫と當地期米の伸惱みに買手控となり人氣軟弱に傾きたる當正米市場は今朝定期の反撥と力武筋を筆頭に精米筋の買進み來りしより又復人氣を盛返し氣配二三十錢高を唱へ手持筋賣急がざる爲め午前中商談の纏まりし物なかりしが昨午後は精德玄米八百叺四十二圓〇二錢淺入貫、奧田貫同三百二十叺四十二圓二十錢平北玄米三百八十九叺四十二圓七十錢松本貫、朝鮮精米貫其他同千百六十七叺四十二圓七十錢地揃玄米六百七十二叺四十一圓二錢にて何れも商談纏まりたる外新米在來種六百三十五叺十二錢に屆にて天日貫ありしのみにて雜穀も一般幾分高含みなるが取引更に行はれず

### 釜山正米市場

內地期米引續き好調を告げ當市場も精米筋の買進みありて十錢高を示し三等神力四十三圓にて一萬二千叺出來せり大豆は保合二千叺出來たり（卅日釜山）

### 丸鐵小締る

英米本國に於ける同盟罷工の影響は漸次鐵價の昂騰を延き輸出餘儀なからしめ前途に一入の如何付不安を感せる向少なからず現在に於ける本邦在荷としては左程不潤澤といふにあらざるも上記の如き現狀は總て價格の高を誘ひ來るが故に於ては人氣の惡化を見るなきにあらざれば大勢に捕はれ殊に米本國のスレー三六及四八、鐵丸の軟調を示せるなど更に中作上げを見たる斬く昂調を告げたるに止まりて業者の手持多く要は前述の方面の輸入遲延にあるのみと知し

### 燐筒用鐵板先

燐筒用鐵板は非々新規入荷遲延のため滿洲に在荷不潤澤にして規輸入遲延を免かれ難く折柄先の如く今後內地製品の需要增加に連れ原板の買附に於ても起らんか見込みにて目下の採算なれば此の缺乏を訴ふるに至るべく在荷の市價は東京二十六七圓、昨今の市中にて昨年同時より約半額に當れるが愈々需要季節に近づけば大小相場の昂騰を促かす

### 雜鑛荷間伸惱む

雜鑛は何れも產地高價を齎らせるに拘はらず本邦市場荷間へ頭が進み各品共相場の伸力を妨げられ昨今錫は百六十五圓鉛十一二圓、亞鉛は三十二三圓錫七十五六圓を持合裡に推移しつゝあるが早晩今日の反動來るべし


公債株式現物賣買
大阪竹原商店特約
東京出一合資會社特約
新田耕市商店
京城櫻井町二丁目
電一八八一・二三九〇

仁川米豆取引所仲買人
園仲買店
電話一八二・長二八三・百
電略（シ）（ハ）（カクシ）

東拓新株賣出
本社ノ內容ハ今更ラ說明ノ要モ無カルベク今回某資產家ヨリ割當株ノ分讓ヲ受ケ左ノ要項ニテ賣出シ申候間陸續御申込御用命ヲ願ヒ度候株數ニ限リアレバ至急御下命被下度此段御願申上候
賣出要項
一 賣出株數　壹千株
（期限前ト雖モ滿株ノ時ハ締切リ可申候）
一 申込期限　自大正八年九月廿日　至大正八年十月□日
一 賣出價格（利付）　卅四圓均一（十一圓五十錢拂込）
一 申込證據金　一株ニ付金拾圓（但シ第一銀行發行ノ領收證御渡シ可申候）
一 申込單位　廿株以上
公債株式現物問屋
丸五商會　有田長商店
京城府永樂町二丁目五番地
電話一四九八番

株式會社仁川米豆取引所仲買人
全　高田仲買店
▲保合岐れに悔を殘す勿れ
硬軟共二十萬石の威力殘し今正に第一期の………勢に悔合、硬軟の定めを用かんと凡く軟軍破力▲渡し米………に決するか興味ある大問題………成功を祈らんとす此の機を逸せず………
仁川海岸町三丁目
高田通信部
電信略符（タツ）振替三八一・九七
電話一〇〇番・長一一九

移轉御披露
弊店業務擴張の爲今般左記の所へ移轉致候に付不相變御引立願上候
京城明治町一丁目五七
有價證券現物問屋　古閑豐記商店
電話三一〇番
振替京城七三三番
電略「コヌ」「ハコカ」

優等清酒
京城永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五〇番
仁川京町　本莊支店　電話二〇〇番
安東縣大和橋通　本莊支店　電話一一二番

資本金壹千萬圓
頭取　安田善三郎
株式會社　百三十銀行京城支店
京城本町二丁目
電話長五八番
振替貯金京城一一三番
銀行一般ノ業務ニ付々御便利ニ御取扱申候
爲替取引先ハ內地各方面並朝鮮樞要ノ地ニ有

# 伊達騒動
## 第十六席
小金井芦洲講演

巨國照大に憤慨す

充分平吉のことを金兵衛が悪様に申上げてある所へ、近藤官打変ぜての上申ですから堪りませぬ『甲斐、早速妻子の者は追放するやう取計らへ……』ご云ふ御沙汰、悲しむべきかな佐藤平吉の妻子は門前払ひ申付けるご云ふ厳命でございます、されば妻子の驚きは一方ではございませぬ、けれ共泣く児に地頭には叶はぬ譬へ、家財道具は親類に頼て大勢の足軽共に引立てられて仙臺のお上屋敷、不浄門から悄々として立出でました、寄る邊なぎさの空ろ船、何處へ便らうよすがもなく、天涯孤獨の母子二人、手に手を取りてお館の方を振り返りつゝ泣きながら七八町やつて來るご、向ふの茶見世に腰を掛けて待設けて居つたのが原田甲斐 甲『コレ〳〵鳥渡待らなさい、其方は平吉の遺族の者であるか 妻『ハイ左様でございます 甲『追回のことは何さも、彼ごも申しやうがない、縱りは甲斐が好く存じて居る、けれ共殿様は唯今見らるゝ通りの御乱行、お心も狂はせられてあらせらるゝから心にもない御沙汰にもなつたのであらう、決して御館を恨むでないぞ、甲斐が萬事のことは含んで居つて好き機會を見て御家の叶うやうに致して取らせる、然ご當つて主人は死んで家禄は沒收家名は仙臺家に斷絶、糊口にも差支ることであらう、用意をさせて是れへ置いた米十俵、金子十両を遣はすから餘り遠く離れぬ所に假住居でも致して細やかの其日を送つて沙汰のあ[illegible]らなさい、且つ其日に[illegible]うなことでもあつたら、[illegible]つて追放に處せられた其方共、お館内に這入る譯にもなるまいから、拙者が所要で外出をした折柄待受けて居て話をすれば宜分の貢ぎは致て取らせる』ご花實もある取扱のやうに思はれた、唯ヨ、ご許りに嬉し泣き……何ご原田甲斐ご云ふ奴は悪辣ではございませんか、己が追放になるやうに取計らつて置いて表に情を裝ふ、凡て斯の如く陰險なる手段を用ひて居りました、さて荒浪梶之助は唯の五十日の閉門で相濟んで、元の如くに君側に侍つて居つた、斯んな事が二度や三度ではない、段々數が多くなつて參りますから心ある人々は薄氷を踏むの思ひを致して居りました、スルご爰に仙臺家の目付役で三百石を領し伊達家では累々の舊功の家柄、譜代の臣で亘三平國照ご云ふ忠魂義膽の武士がある、兼て原田甲斐夫に一味の悪人原が蔓こるを非常に憤慨いたして居りました 三『アヽ切望してお家の餘い甚だしく亂れない間に無事に治めたいものだが』ご種々に心を砕いた結果、思ひ餘つて病氣の披露をして一室に閉ぢ籠つて篤ご意を決して筆を執つて認めましたのが強硬なる諫言状、病氣全快のお屆けをして時節を伺つて居ります間に、今日は萬治三年五月五日、所謂三大節句の内の端午の式日でございます、家中一般總出仕を致した上、殿に節句の祝言を申上げる、伊達家は譲て演じた通り源氏一姓の家柄、徳川大公儀ご同じ格式になつて居つた、お館、公儀着ては四十八館などの稱へは加賀薩摩が幾ら大家でもなかつたものでございます、ですから斯う云ふ家臣が總出仕となると大變な混雜で身分に由つて特種の出來る者もあれば特々禮、お通り掛り御禮などゝいふのもある、亘三平は祿は僅に三百石ではあるけれども家柄譜代の臣でありますから特禮の出來る身の上、染帷子に月星の定紋付いた上下を着用して威儀を正して御前に罷り出で、肉手を突かへて『恐れながら端午の佳辰目出度く御祝詞を申し納めます』綱『オヽ目出度ひの』例に由つて葛布酒を賜はり、有難く頂戴をして二三お話を申し上げたる時、恭しく懐中から取出したのが帛紗包、それを解いて三『借て我君、誠に恐れ入りましたが一應御披見を願ひ上げたう存じます』ご差出だしたのを何氣なく綱宗公がお取上げになつて上封じを見るご『上』の字が認めてございます

## 釜山の人殺し

廿二日午後九時頃京畿道通府商會錦瑛方に於て釜山凡一洞裴乙倫(□□)が金錦瑛の爲め小刀を以て刺し殺されたる椿事の加害者金は直ちに現場を逃走し行衛不明なり元來金裴の兩名は平素友人の間柄にて加害者金が兼て被害者裴より山畑を抵當こして若干の金子を借居るが當日は同地の市日なるより他の小商人の貸金取立の爲め出張なし序に同人の貸金を催促旁金方に立寄るより酒を飲み始めた事か金は酒癖悪く遂に裴に喰つてかゝり貸借は金持の癖に他人の土地を勝手に名義を變更し不屈千萬なりご罵り盛んに口論をなしたる揚句金は刺し殺すぞと行成小刀を以て裴の心臓を突き刺したれば裴は其場に即死せりこの急報に依り東萊署より小梁川警部及び釜山地方法院柳澤検事出張検視を遂げたるが目下犯人捜索中なり

## 暦

十月二日（陰）八月九日 木曜日 ひのえさる 七赤 先勝 酉 佛滅 非 みつ

▼七赤▲前後に注意すべき日
▼八白▲先見越しの當らぬ日なれご金錢上の事には利益あらん
▼九紫▲何物か得心の行く象ある日又た金錢上に縁ある日なり
▼一白▲動き迷ひある日物事七八分通り叶へご十分迄は困難也
▼二黒▲活溌の日にて晴々するなれご無謀の考へを起す不可
▼三碧▲目下の事にて心配あるや知れず凡て龍池中に在る象也
▼四緑▲ちよつご陰氣な日なれご考へ直せば却て愉快なる日也
▼五黄▲願ひ望み叶ふ日にして或は遠方より便あるやも知れず
▼六白▲名譽の揚がる事あり併し勝氣に乘じて妄進すれば不可

## 演藝案内

本町一丁目 有樂館改稱 喜樂館 電五九七番
▲當る九月廿六日より特別興行
日光の風景　休暇日の出來事
米國トライアングル社ファインアーツ特作品
▲快活劇ドーグラスの義俠 五巻
原名『善良なる悪人』主役剛兒ドーグラスフェアバンクス氏出演
日活京都派新大作悲劇 [illegible]
▲新劇 元和三勇士 六巻
[illegible]

京城明治町 浪花館 電話二六〇
▲毎日晝夜二回開館 晝間正十二時より夜間六時半分開演
京山愛子一行 米新潟朝女流浪界の横綱
當る十月一日より毎日午後六時開演
力士の靈 京山小愛　俠客傳 京山若子　鹽原多助 三河屋　津田三藏 自由軒小大和　水戸老公 三河屋　義士銘々傳 京山雲　田家坊太郎 京山愛子　三味線 京山

本町二丁目 壽館 電一〇五〇
當る九月廿日より 十一日目演題
東京大阪歌舞伎岩井半左衛門座
[illegible]

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
當る九月廿六日より大寫眞提供
◎滑稽寫眞『小猫』長尺
◎滑稽劇『三人藝』長尺
米國メトロ會社特作
▲大活劇 渦中の人 全六巻
エムミーツェーレン嬢出演 ルイジョセフヴァンス氏の著作したる小說より脚色したる社會劇
大阪日日連載小說松之助十八番劇
◉猿飛佐助 諸國漫遊記
信州上田の城主眞田幸村の家臣主命により天下の動靜を探る爲め諸國を遍歴し秀吉の遺孤を補佐したる大勇士
毎月一日十五日曝祭日晝夜開演


# 月やく
## こまり不順でお心配の方へ

月やくこまり不順のため食物まづくむかつき時々下腹痛み何となく身節の工合悪くてこれまで色々と他の藥を用ひても効なく失望こ損害を蒙られる方は誠にお同情に堪へません、こんなお氣の毒な方は一時も早く私方へお出しなさい何の副作用もなく妙に良くきく月經の專門藥があります、お出での出來ぬ方は返信料を添へ申込あれお知らせす『急は急』
東京市四谷信濃町電車停留場前　大阪市會根崎上一梅ケ枝町電停前　月經專門藥本家 藤田藥舗　便利店 釜山辨天町二

# るいれき
グリ〳〵が首筋ムネ腋下等にて永年お困りの方ハ切らずにナヲル妙藥人助けの爲お知らせ致ます
兵庫縣赤穂郡鞍居村 中川忠一
◆電話 讓物 本町二 釜本商店 東五 電八五五番

血肉體を増し肥を強くす
補血強壯
# 肥肉丸

貧血にて痩たる症
虚弱にて色悪き症
神經衰弱及病後の衰弱諸症
其他心臓病、黄胖黄疸等に大効あり
持藥こして用れば健康保全の効あり

商標 ウサギ印 注意
價 三日分金五十錢 七日分金一圓 十五日分金二圓
大阪市堂島元鍋橋 本舗 高橋盛大堂本店
同心齋橋筋 發賣 高橋盛大堂分店
東京市神田 同 高橋盛大堂出張所
到る處の藥店にて販賣す

# 顔に汚ない吹出物
## ニキビそばかす
### 專門藥「富士スノー」出て、拭ふが如く汚點消滅す

「心さへ美しければ顔貌なごはごうでもよい」なごご云つたは昔の話、今は學問や技藝はかりで理想的の結婚が成立し得らる、世の中ではありませぬ。されば結婚前の御婦人達は勿論の事、たこへ既婚の御婦人でも家庭の圓滿を保つ爲に、片時も美顔こいふ事を忘れてはなりますまい。殊にたこへ男子の身でも結婚前の人々なら彼の香水や白粉に浮身をやつす迄には至らずこも、せめては醜からぬ程度まで注意すべきではありますまいか。然るに其美容上最も困難するはニキビ、ソバカスこれである。

▲ニキビこは何か　男子十六七歳になると、顔に小さい吹出物がして、爪でつまむと中から白いものが出て、治つた跡がヅの皮の様になる、御婦人でも脂肪の多い方はこれが出來て治つた跡が穴になり、一生その儘にくきが取れない。それだからニキビが出來たらなるべく早く全治せしむるがよい。

▲ソバカスこは何か　これは御婦人の顔に黒い點々が隙間なく出來る病気で、其の狀恰もソバカスをふり散らした樣である。御婦人の少しでも色が黑いのなら濃化粧でもしても仲々隱れない。これも結婚前後の妙齡婦人に多い病であるが、中には出産してから急に吹出す人もある。

▲是れ迄の藥の効果　ニキビ、ソバカスは此の如く嘆かはしいものであるから、既に男女の美を損ふものであるから、諸君は一日も早く之を全治せしめたい事であらう。そして是れ迄もニキビやソバカスが取れるこいふ化粧水や軟膏なごを必ず試みなされた事であらう。然るに其の効果は如何でしたか、恐らく少しも良くならなかつた筈だ位のもので滿足なさる程の効果は無かつたであらう。夫れこいふ譯はニキビ、ソバカスの原因が必ずしもはつきり知れないので、從來一般の人々は色白藥や化粧水なごを御用になつて居られたからである。色白藥や化粧水は色を白くする作用に重きを置いてあるから、ニキビ、ソバカスの藥としてはそれにニキビ、ソバカスに効くものを少々まぜ合せた位のものであるから、ニキビ、ソバカスに就いては其の効果の薄いのも當然ではあるまいか。

▲ニキビ、ソバカスの原因　ニキビ、ソバカスは皆年頃の男女の體内に鬱積せる悪血が一種の毒素ご化して外に吹き出したものであるから、一時は何人も反對のない學說であります。然らば之を全治せしめるには先づ第一に其悪血の防除を圖内から追除する爲に内服藥を用ひなければならぬ。然るに今日迄の諸君の用ひられた藥は化粧水の多くは外用藥ばかりで誠に少し病氣が治つても再發するのであつて、一寸した刺戟で出るのである。外用藥だけでは其の効能がないのである。

▲然らば内服藥は如何　そこで進歩した醫術所ではニキビソバカス藥こして内服藥と外用藥を發明してある。これは最も學理上から云つても、實際上から云つても、完全な療法ではあるが、まだ少し不完全な點がある。それは防毒素を腸胃中に驅逐するには從來の内服藥では體内の悪血を驅逐するには効果があるが、肌に吹き出した是れに關はりがないのである。されば世間には此の兩方の効がない。されは世間には此の藥を服用しながら、顔を洗つても顔面に發現して居る物がなかなか取れない。いくら洗つても內外から十分洗はねばならない、是れは内服藥と外用藥を同時に用ひて完全に治せしめんとする事が出來ないものであつた。ニキビソバカスを完全に治せしめるには内外から十分洗はねばならぬ。

▲富士スノーの發明　當會社の研究の結果、進歩したる内外兩用藥を一組こして發賣する事になつた。此の藥の代金は僅か二十錢もする今日では價格も非常に安い、當會社は茲に發明したる内服藥と外用藥を同時に併用すると、ニキビ、ソバカスが治るなら最も效能があるのであります。

内用「富士スノー」
外用「富士スノー」

之を併用すれば、ニキビ、ソバカスに對し拭ふが如き効能あり。

定價は
内外用 一組 金貳圓四拾錢　ニキビ用
内用 同 金壹圓八拾錢
外用 同 ソバカス用
一組 金貳圓八拾錢
同 金五圓參拾錢

注意　發賣元富士スノーはあらゆる色白藥や化粧水の如く色を白くするこいふ効能は少しもありませんが、ニキビ、ソバカスには驚くばかりの効能があつて、それで身體に少しの害もなく顔に見惡いシミや斑が出來たり色黑くしたりする樣な心配は少しもありません。御安心の上御用ひを願ひます。

御註文の御便利を計りハガキにて御申越あれば即時代金引換小包（送料當社持ち）にてお送り致します。若し東京市內の方で御來店下さる方は駿河臺下で電車を降りる直ぐ眼の前に立つ三階建てです。ニキビ、ソバカスにてお苦しみになる方は一日も早く此の二三階造りですから其れを目あてに御出下さい但し午後五時過ぎニ日曜日は休業です悪しからず。今まで他の藥で見えるお悩みの上に見ぐるしい程の美しさならせられ心から御幸福を祈るこ同時に當會社「富士スノー」の特効を御體驗下されん事をお勸めする次第であります。

東京神田小川町四四
富士製藥株式會社
振替東京一一八〇

腦及神經の疾患に能く鎭靜の効を擧ぐる
# ◎ミツワ鎭靜錠
みつわ・なうびやうのくすり
百錠入 金壹圓貳拾錢
主要成分　サイミナール、ブロームカリウム、ブロームナトリウム、ブロームアムモニウム、纈草丁幾、莨菪エキス（詳細は説明書にあり）
適應　頭重、頭痛、頭内鳴響、逆上、眩暈、不眠、神經衰弱、神經性心悸亢進、精神興奮、神經過敏、ヒステリー、ヒポコンデリー、喘息、
症候　精神を使過ぎるこ、其の結果頭痛がしたり、頭內が騒がしくなつたり、逆上や眩暈に惱まされたり、眠れなかつたり、又物忘れがしたり、心悸が亢ぶつたりする、所謂神經衰弱症にはミツワ鎭靜錠を服むに限る。本劑は神經の疲勞を恢復するのみでなく、頭痛の他神經病の諸症を起す病症にも良効がある。

腦病の原因となる鼻病を治療する
# ◎ミツワ鼻病液
みつわ・はなのくすり
一壜 金貳拾錢
主要成分　鹽化アドレナリン、鹽酸コカイン、石炭酸、バルサム、メンタ（詳細は說明書にあり）
適應　[illegible]
症候　鼻腔が痒く、乾いたり鼻汁が頻に出たりして、腦に氣になり、臭ひがわからず、鼻が詰り、鼻汁が出るこ、耳や咽喉の病を誘ひ出し、且つ記憶力を減退す、此の時にはミツワ鼻病液を用ふるに限る。本劑は鼻粘膜の炎症を消し、腫脹を減じ、分泌を抑へ、惡臭を除くのである。

血の道冷性婦人多發の病を治する
# ◎ミツワ婦人湯藥
みつわ・ふじんのみぐすり
八十袋入 金[illegible]
主要成分　ブロームナトリウム、ブロームアムモニウム、ヨードカリウム、枸櫞酸鐵アムモニウム、規尼涅、ヨーネ、カスカラサグラダ、流動エキス、サフラン、川芎（詳細は說明書にあり）
適應　血の道、頭痛、眩暈、逆上、冷性、月經不順、腰痛、肩凝り、白帶下、子宮內膜炎、子宮外膜炎、婦人病一切
症候　神經が鋭敏になり、物事が氣になつて、心悸が亢ぶり、逆上せたり、眩暈がしたり、手足が冷え、食欲が進まず、顔色が惡く、眠れない、俗に血の道と云ふのはこれで、月經が或は遲れ或は一月に三回もあるやうな月經不順や、腰や下腹の吊るやうに痛む子宮病、其の他諸々の婦人病などには、ミツワ婦人湯藥を用ふるに限る、ミツワ婦人湯藥は最も效能のある現代的婦人藥である。

白帶下其他婦人生殖器病に卓効ある
# ◎ミツワ婦人坐藥
みつわ・ふじんびやうのくすり
六個入 金五拾錢
主要成分　プロテーン銀、ツメノール（詳細は說明書にあり）
適應　白帶下、膣炎、子宮內膜炎、子宮外膜炎、子宮炎、喇叭管炎
症候　月經中や産後の不攝生、感冒又は腐敗なごから起つて、白帶下を漏らし、腰から股が治るやうに痛み、又下腹が絞られるやうに痛む婦人病には、ミツワ婦人坐藥を膣內に挿入して服用して溶かしたもので洗ふと卓効がある。それにミツワ婦人湯藥を內服すれば効験は倍一層著しい。
家庭治療法（定價五拾錢）但郵券五錢にて御申込あれば進呈す

內容を公示して責任を明かにせる
# ◎ミツワ家庭藥
みつわ・かていやく
ミツワ家庭藥は內容を公示して一般の信用を得、更に藥價の低廉なるを以て家庭に必要なる第一の治病輔助藥である。

特長
處方を明記し內容を公示す。
製劑精確にして效力一定不變なり。
藥品純良にして中毒の危險無し。
包裝完全にして變質の虞無し。
內服藥は錠劑にして服用し易し。
價格低廉にして永く保存に耐ふ。

眼結膜諸症に消炎鎭痛等の効ある
# ◎ミツワ點眼液
みつわ・めぐすり
點眼器附壜入 金拾五錢
主要成分　硫酸亞鉛、鹽化アムモニウム、精製カンフル（詳細は說明書にあり）
適應　眼瞼炎、結膜炎、流淚、充血、淚液分泌亢進、羞明、眼瞼痒、眼灼熱、眼疼痛、眼內異物感、急性結膜炎、トラホーム
症候　眼瞼が腫れ、眼瞼も重くなり、淚液が多く出て、羞明しく、眼が或は痒く或は熱く或は痛み、或はコロ〳〵するなごの症候を現はす諸種の眼病には、ミツワ點眼液を溶かし、それで蒸すなり又洗ふなりして、ミツワ點眼液を用ふるに限る。

齲歯其の他に因る歯痛を止むる
# ◎ミツワ歯痛液
みつわ・はのくすり
一壜 金貳拾錢
主要成分　精製カンフル、クレオソート、メントール、丁子油、エーテル（詳細は說明書にあり）
適應　齲齒より起る疼痛、過熱過冷、又甘味酸味の飲食物の爲に起る齲齒の痛み。
症候　齲歯が出來るこ、痛むことが屡々あるが、齲歯がなくても熱過ぎ又冷た過ぎる飲食物、甘いや酢い飲食物、硬い物などの爲に歯の痛むことがある、斯る歯痛みの場合には、ミツワ合嗽錠を溶かして含嗽をなしミツワ歯痛液を塗るに限る

旅行の場合何人も必ず携帯すべき
# ◎ミツワ螫蟲液
みつわ・むしのどくけし
一壜 金二十錢
主要成分　アムモニア水、メントール、狗椽油、酒精（詳細は說明書にあり）
適應　蚊、虻、蚤、虱、床蟲、毛蟲、蜈蚣、蛇等に刺されたる時。
症候　蟲類に螫されたこき、直にミツワ螫蟲液を塗るこ、其の毒を消して、毒の深く入らぬやうにし、疼痛や痒みを鎭め、防腐消毒の効驗を現はすのである、それ故離れても本劑を常に備へ置くべきは勿論のこと、旅行殊に未開の地へ行く際には必ず携帯せねばならぬ。

ミツワ家庭藥の種類と定價（内地以外は關税運賃を加ふ）

| 品名 | 數量 | 定價 |
| --- | --- | --- |
| ミツワ健胃錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ消化錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ制酸錠 | 三百錠 | 貳拾錢 |
| ミツワ緩下錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ止瀉錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ解毒錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ驅蟲錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ清涼劑 | 一[illegible] | [illegible] |
| ミツワ解熱錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ袪痰錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ鎭咳錠 | 百錠 | [illegible] |
| ミツワ結核錠 | 百錠 | 貳圓 |
| ミツワ人參錠 | 百錠 | [illegible] |
| ミツワ疲方人參錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ婦人湯藥 | 八十袋 | 壹圓 |
| ミツワ婦人坐藥 | 六個 | 五拾錢 |
| ミツワ鎭靜錠 | 百錠 | 壹圓貳拾錢 |
| ミツワ治淋藥 | 五十個 | [illegible] |
| ミツワ痳疾洗滌液 | 一壜 | 五拾錢 |
| ミツワ點眼液 | 一壜 | 拾五錢 |
| ミツワ鼻病液 | 一壜 | 貳拾錢 |
| ミツワ歯痛液 | 一壜 | 貳拾錢 |
| ミツワ含嗽錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ[illegible]錠 | [illegible] | [illegible] |
| ミツワ鎭痛液 | 一壜 | [illegible] |
| ミツワ螫蟲液 | 一壜 | 貳拾錢 |
| ミツワ養毛液 | 一壜 | [illegible] |
| ミツワ腋臭藥 | 一壜 | [illegible] |
| ミツワ撒布藥 | 大一箱 | [illegible] |
| ミツワ瀉一膏 | 一罐 | [illegible] |
| ミツワ制汗膏 | 一罐 | [illegible] |
| ミツワ痤瘡膏 | 一罐 | [illegible] |
| ミツワ頑癬膏 | 一罐 | [illegible] |
| ミツワ痔疾膏 | 一罐 | [illegible] |
| ミツワ痔蟲藥 | 六個 | [illegible] |

發賣品目錄御申越次第送呈
ミツワ石鹸本舗 東京馬喰町 丸見屋商店
其他各地藥店に在り

# 尼崎汽船部
仁川海岸通 [illegible]
[illegible]

# 共同汽船出帆
▲青島大連行 共同丸 九月[illegible]日
▲大連直行 [illegible]
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 [illegible]
元山代理店 [illegible]
京城取次店 [illegible]

# 日本郵船出帆
濟州丸 九月[illegible]日 高砂丸 九月[illegible]日 相模丸 九月[illegible]日
大連、太沽、牛莊行
仁川海岸町一丁目 [illegible]

# 五光商會
第三盛運丸 元山、西湖、城津 九月[illegible]日
第三[illegible]丸 門司、宇品、神戸、大阪 九月[illegible]日
釜山 大池回漕店 元山 田口[illegible]

# 朝鮮郵船
▲教賀行 [illegible] 平安丸 九月[illegible]日
▲浦汐行 大阪、元山、城津 鮮後丸 九月[illegible]日
▲雄基行 京畿丸 九月[illegible]日 雄基丸 九月[illegible]日
▲元山細北線 [illegible] 鏡城丸 九月[illegible]日
▲大阪行 釜山 [illegible] 越後丸 九月[illegible]日
▲關門行 [illegible] 京畿丸 九月[illegible]日 平壤丸 九月[illegible]日
▲金剛山遊覧便 長箭行 [illegible] 鏡城丸 九月[illegible]日
▲欝陵島行 釜山 [illegible] 孤德丸 九月[illegible]日
▲釜山浦項線 [illegible]
▲濟州島行 [illegible] 昌平丸 九月[illegible]日
▲東海岸線 慶興丸 公州丸 九月[illegible]日
▲釜山麗水線 [illegible]
▲多島海行 木浦 [illegible] 興丸 九月[illegible]日
▲木浦行 [illegible] 百州丸 九月[illegible]日
▲海州行 [illegible]
▲大連青島行 天昭丸 九月[illegible]日
▲鎭南浦行 江原丸 九月[illegible]日
京城南大門通 [illegible]

THE KEIJO NIPPO
大正八年十月一日（水曜日）　第四千三百十一號

京城日報（年中無休刊）
定價 一部金四錢 一ヶ月金六十錢 [illegible]
廣告料 五號十四字詰一行一圓五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

## 京城日報　一變せる朝鮮人
### 井上代議士の朝鮮觀に就て

近頃の東京新聞紙に、政友會の領袖井上角五郎氏の朝鮮談を載するものあり。其の言にいふ「本年六月渡鮮の際、即ち前總督時代には、朝鮮人は總て吾等の質問に對し、總督政治を非難するにしても、低聲にて大いに躊躇の色ありしに、今回は毫も之を遮ぎらず、總督政治を縱横に講議し、毫も憚る所なきは、實に意外の感に打たれたり。而して彼等は俄に傲慢なる態度を示し、意氣揚々として何等か得意の色あるもの、如く、殊に地方官の言に依れば、從來道路擴張工事等に對し寄附金及び土地收用等は、當局より鮮人に制當て、何等苦情を聞かざりしが、近來は上申書を出し、或は陳情委員の來る等、全く内地と異なることなき現象を示し來れり、之れをもつて或は爆彈投下の結果なりと云ひ、或は春以來の萬歳騷ぎより胚胎せりといひ、或は憲兵制度廢止に依るとも云ふ諸説あれども、當らず、予の見る所に依れば全く新總督が彼等に對し新政を布くべく宣言し、言論の自由を許す態度を示したるが重なる原因を爲せるものなりと信ずると同時に、此の傾向は決して統治上惡兆候なりと認むる能はず、寧ろ此の機會に乘じて彼等をして十分此意のある處を明かにし、理解せしめて始て完全なる政治を行ひ得ると思はる」と。朝鮮人の態度の一變せるは吾人朝鮮に在住する者の特に著しく感ずる所にして、中には隨分傲慢の態度に出で、人をして顰蹙せしむるものなきにあらず、井上氏が鮮人の樣子の甚だしく豹變したるに一驚せるは蓋しさもあるべきことなり。而も其の原因を推して現總督新政の影響に在りとするは肯綮を得たるものにあらず。即ち鮮人態度の一變は、三月以來の事變に誘發せられたるは疑ふべき餘地なきの事實にして、此の形勢は井上氏がいふが如く樂觀すべきものなりや否や、吾人は疑ひなきを得ざるなり。

吾人は固より言論の自由を或る程度まで開放せられんことを望みて止まず。殊に式法を外れざる穩健なる陳情又は意見開陳等の如きは、固より國民の權利に屬し斷じて之を抑壓すべきものにあらず。所謂下情上達は多くの場合此の形式に依ることなるが故に、地方官憲は最[illegible]扱ふを要すと雖[illegible]ける無責任なる[illegible]横議と[illegible]其他に於ては、之れ等に[illegible]特に吾人の憂ふる所[illegible]放言横議が、極めて[illegible]機に出でたることは[illegible]誤解せる民族自決主義[illegible]に關聯して共國より強大[illegible]援を得べしとの空想を[illegible]るは、事實の否むべか[illegible]にして、是れ獨り不逞の徒のみ[illegible]間にも、匪々として[illegible]に眼らず、相當に知識ある者の[illegible]ことは、少しく鮮人に接觸する[illegible]もの、直ちに感得する所、之を以て必しも惡兆候ならずとせば、何をか惡兆候と爲すべきぞ。

吾人は善良なる動機に出でたる朝鮮人の自覺を望むこと最も切なり。即ち朝鮮は日本を離れて單獨に存在すべからざることに[illegible]日韓併合は世界の大勢に順應して、兩者の生存發達を圖るものに[illegible]て、現在中歐諸小國の[illegible]如きは、歐米強大國が隨時[illegible]策に出でたるものにして、[illegible]の成行を遂に熟知すべからざる等を、深く理解し、飽まで併合の大趣旨に從ひ、其の福祉の發展を圖らんがために、多少の不平を犧牲として、國家の良民たらんことを期するを其の出發點として、こゝに初めて自覺を起したりとせば、吾人は滿腔の敬意を以て其言論を傾聽せんと欲するなり。吾人は鮮人の先覺者中にて勿論此の純正なる思想を懷抱するもののあるを信ずると雖も、今の放言横議を事とするものに至りては、未だ此の三昧地に入り能はざるを遺憾とせざる能はず。

## 巴里會議の一斑（八）
海軍々令部參謀 野村大佐講演

又日英の間には山東問題に關し或る約束があつたからではあるが巴里會議に於て英外相バルフォア氏の如きはウイルソン氏に對する說明の勞を取り大に努力したとは此問題の解決の爲に一つの大きな力であつたと云ふことが出來る。日米の間にも利害の一致しないことはあるがなるべく愼重の態度を以て所謂國際間の協調の爲めに衝突の勢ひを緩和して行くことは國際聯盟等に於て帝國の主張を徹底せしむる爲めにも必要であると思ふ。講和會議の初め亞米利加から非併土主義と云ふことを唱へられ遂に委任統治と云ふ方法が採用さるることゝなつた。併し夫は大戰に於ける敵の領土に對してゞあつて過去の併合をも復舊するのではない、英吉利は蘇格蘭、英蘭、威爾、愛蘭が合併して出來て居る、亞米利加もニューメキシコ、カリホルニャ其の他を併合したのである、けれども是等のことには一切無關係であつて固より日韓併合がウイルソン氏の唱へた非併土主義と何等の關係もないことも明かである、アルサス、ローレンは併合とは云はずして獨逸から分離し元の持主に返すと云ふことにして佛蘭西に與へられた。又委任統治となつた土地と雖も將來に於ける併合はウイルソン氏も認めて居る。濠洲ではニューギニアの元獨領が若し敵の根據地となることがあつたならば濠洲の安全は保てない、所謂濠洲モンロー主義を唱へてニューギニアの併合を主張し新西蘭はサモアの併合を主張した、ウイルソン氏は是れに反對したけれども將來其の住民の意志に依つて併合することには反對しないと云つた。

## 生別死別
服部硯月
＝不許無斷興行＝

### 第十一　疑問の男

井上探偵は三浦判事の注意に依り、早速文部省内當時の職員中罷められた者を調べた。そこで又新館の帳簿に在る日附以後に於て免職になつたのは、屬官一人と小使一人とである。其の他高等官中には二三の交迭があつた許り、差し當り屬官を調べたが、之は老朽淘汰の意味で官の方から免じたのである。小使は近頃になつて、贈金の日附からは彼是七八ヶ月を經て、自分の方から暇を取つたのである。併し其の間の行動を調べたが、別に豪奢の擧動もなく謹直であつたとのことである。最初の探索所を調べたところ、履歷書の出願に記してあつた番地からは疾くに轉居して行方が分らない。若し省内の者で疑へば清水と云ふこの小使だけである。又新館が盛んに賄賂を振り撒いて居る當時、其の店の番頭中の三番目の位置に据はつて事件の暴露以前に店を退き松雲堂と云ふ他の本屋に番頭がしらをしてゐる恒田文次郎といふものがある。又新館の他の番頭共が皆召喚せられ、中には關係者として收監された者さへあるが、何うしたのか此者丈けは喚問に漏れてゐる。此者に訊いたら底上に關する消息を知ることが出來やう。井上は斯う云ふ事實を探り得た、併し近寄る機會がない。法廷でなら事實を隱すことは出來ないが、今ば彼を呼出すべき時期は過ぎてゐる。觸らぬ神に祟りなしと、口を噤んで事實を吐くまい。何とかして釣出す工夫はなからうか。井上は斯う云ふことを考へつゝ、或る日牛込見附からお濠端を櫻田門の方へふら／＼降りて來つた。恰度三宅坂の下から上つて來た電車から乗替の爲め下車した三浦判事の姿を見付けた。井上はつか／＼と其傍へ急いだ。

『三浦さん、丁度好い處でお目にかゝられました、實は今日か明日にも是非お伺ひしやうと思つてたところでした。』

『おゝ、井上君、其の後お變りはないかな』

『有難う御座います、時に三浦さん、今日お急ぎでいらッしやいますでせうか』

『別に急ぎはしない、之から宅へ歸るばかりだ』

井上は四邊を見廻して

『途中で甚だ失禮で御座いますが、例の一件を一寸お耳に……どうで御座いませうか、彼の休憩所で少時お邪魔が出來ませうか』

『あ、好いとも』

二人は陸軍省の坂の入口と對ひ合つた衛戍總督部と土堤の角に沿うた休憩所に這入つた。電車乗替の爲めに設けられてあるけれども、雨も降らない限り態々這入つて休むものもない。兩人の爲めには好都合の場所である。

『どうだ、巧い手掛りでも得たかね』

『どうもまだ確かな手掛りを得ません、御意見に從つて早速文部省の方を探りました、素行上から嫌疑を掛ける程の點もありませんが、自分の方から暇を取つて目下行方不明の小使が一人居ります、それから書肆の方を調べて見ましたところ、意外な事實を得ました』

『さうか、何ういふ……』

『それは盛んに賄賂を振撒いた當時又新館にゐた番頭で今現に他所の書肆に居る者を見付け出しました。』

『其の男は何と云ふか』

『恒田文治郎と申します』

本會理事（大陸之京城、大陸之朝鮮著者）阿部辰之助氏先般來西鮮地方及北鮮地方ノ產業調査及實況視察ノ途ニ上リ九月廿五日歸城多大ナル御後援ヲ辱フシ無事調査終了ノ上去ル九月廿五日歸城仕候間謹テ御厚意ヲ謝候
尚來ル十月一日ヨリ更ニ南鮮各地ノ產業調査及實況視察ノ途ニ上リ仁川、鎭南浦間及仁川、群山、木浦、鎭海、濟州島、釜山、浦項、元山等ノ各沿岸並ニ京釜、湖南、馬山其他ノ各鐵道沿線各地ニ出張可仕候ニ付キ併テ謹告仕候
大正八年九月　日
京城櫻井町二丁目二十九番地
京城調查會

實業之朝鮮 修理と販賣
京城本町 振替二五二七 ツボヤ書店

天覽 元祿快擧錄
福本日南先生著 菊判八百五十頁 定價參圓 送料十八錢

珍本 增訂 殘花一輪
市川禪海師著 袖珍形 美本四百五十頁 定價

十版 僧兵の勉强法
美島近一郎先生著 袖珍形 本三百五十頁 定價六十五錢

再版 青年の力と修養
美島近一郎先生著 袖珍形 本四百頁
東京市日本橋（今川橋際）啓成社 振替東京

東亞學講義錄
本會講師は漢學專門大家にて講義錄は目下入學の最好機 [illegible]
新學期開講 大特典提供
講義錄見本付會則 [illegible]

新演藝 十月號 一部定價七十錢 郵稅金三錢
尾上菊次郎の死　楠山正雄
逝ける二女形　岡村柿紅
左團次の廣告術　伊原青々園
福助と神戸の女　大森痴雪
『信仰』の稽古日　市川壽美藏
河合武雄脚本發表…
理想の夭、理想の妻
日蓮辻說法合評會…
新作『菅原傳授』　鬼太郎
小說『壽門松』　渡邊霞亭
少年俳優列傳　山岸荷葉
大阪演藝風聞錄　玉谷五十一
樂屋風呂　川尻清潭
可文と富三郎　香取仙之助
東京芝公園 振替東京 一四一七 玄文社

淑女畫報 特別號
結婚改善 十月號
結婚式次第
現代に適應する
花嫁の裝ひ
花嫁の帶の結び方
古の婚禮式に用ゐた品々
最近の白蓮夫人
結婚改善の要點
諸名家結婚改善
秋草の河原
夏の歌留多會
芝居の女　お三輪　おはん
東京市本石町 博文館

十月號 鐵
米と日本人口
米國の亞細亞政策
米人の黑人虐待眞相
世界書物の絕滅期
國書の選擇の標準
世界醫界の新紀元
萬病療法
南洋の極樂島
天理教退治
秋の漫畫
拾貳錢 郵稅一錢

色澤鮮明 永世不變色
簿記用 プラトンインキ
萬年筆用 ナチュラルインキ
京城日報社代理部

笹山章著 鮮語自在 新案獨學 イロハ辭典付
定價五十五錢（送料）
發賣元 京城日報社代理部

肥料製造販賣開始

今回業務擴張從來ノ東京工場ノ外更ニ大阪ニ工場ヲ新設シ來ル十月ヨリラサ過燐酸及配合肥料各種製造販賣開始仕候間御引立ノ程希上候
（御引合ハ本社ヘ願上候）

商標
資本金 六百萬圓
ラサ島燐礦株式會社
社長 農學博士 恒藤規隆

營業品目
一、燐礦石
一、過燐酸肥料各種
一、重過燐酸肥料
一、配合肥料各種

本社 東京市麴町區有樂町一丁目壹番地
大阪出張所 大阪府西成郡稗島村大阪工場内
東京工場 東京府南葛飾郡大島町七丁目九七六
大阪工場 大阪府西成郡稗島村
鑛業所 沖繩縣島尻郡ラサ島

十月八日開業
株式會社 大阪野村銀行北濱支店
大阪市東區北濱一丁目（株式取引所向側）
電話本局 特長 三四二五番 三四二六番 三四二七番

最も學理的集約的に編纂せる最新最良の
模範 新英和大辭典

各科學の權威英文學の泰斗たる二男爵八博士が其蘊蓄を傾倒して編纂せるものにして世界大戰勃發以後激増せし最新語例へば國際聯盟、タンク、スパルタカス團の如き集成して餘す處なし現下我國の英和辭書にして本書の如く最新語を網羅せるもの他に非ずと極言するを得べし

神田男爵 寺野工學博士 横井農學博士 有賀文學博士 高松工學博士 肝付男爵 中村工學博士 神保理學博士 江木法學博士 平山理學博士 共編

紙數二千五十頁
正價金參圓七拾錢
送料 内地金十八錢 臺、鮮、支、金四十錢

東京神田 株式會社 三省堂 振替東京三一五五五

## 鐵道總罷業開始

鐵道從業員と政府との交渉は遂に斷絶し二十六日夜深更より總同盟罷業を開始せり（倫敦電報）

## 罷業愈々盛なり

英國政府の決心 ロイドジョージ氏談

ロイドジョージ氏は曰く今回の鐵道罷業の如く輕卒に且正當の理由を缺き公衆の利害問題を全く無視して行はれたる同盟罷業あるを知らず政府は國民の利益の爲め政府の一切の資源を擧げて是に對抗せんとす（倫敦電報）

## 英政府應急準備

英國に於ける全鐵道は二十六日夜より運轉を停止し同盟罷業參加者五十萬人に達せり政府は爲に六週間の食料を貯藏し事實上是を管理するものなることを發表せり（倫敦電報）

## 鐵道罷業と結果

今回の英國鐵道ストライキが失敗すれば勞働組合は今後悉く存在を危くせらるゝに至らんと（倫敦電報）

## 獨兵撤退の要求

食料品の供給方を停止すべし

聯軍最高會議はフオーシユ元帥に對し獨逸に公文を送り急に波羅的沿岸諸州より獨兵の撤退するに非ざれば食料供給を停止す可き旨を以てす可き事を命ぜり（巴里電報）

## ダ氏宣言書發表

ダヌンチオ氏は最近マルタ島に於ける同胞に與ふるの宣言書を發表し早晩カツタロ占領を事實にせんと希望すと述べ其末文にアドリヤチツクの運命は只伊太利に因つてのみ解決され得可きのみと（ミラン電報）

## 英戰時喪失艦艇

戰時中英國の喪失せる艦艇は二百五十四隻にして内戰鬪艦十三隻巡洋艦二十二隻なり（倫敦電報）

## 貴族院と物價問題

十月一日午前十時より研究會事務所樓上にて貴族院各派交渉會を開き物價調節問題に關し〆派の質問忠告を試むる件に就き最後の協議を爲す筈なり（東京特電）

## 定例閣議内容

外交經過報告

三十日定例閣議を開き内田外相より最近外交經過の報告後通常政務を附議せり（東京特電）

## 前米駐支公使

前米國駐支公使ラインシユ氏は當分北戴河に在りて支那の爲めに活動すべし（紐育電報）

## 潜水艦の借款

米支潜水艦借款千八百萬元成立を北京政府に急ぎつゝあり（北京電報）

## 湯本氏の敍勳

畏き邊にては湯本武比古氏が多年教育事業に盡瘁せる功を思召され左の通り破格なる敍勳の御沙汰ありたり（東京特電）

從七位勳四等 湯本武比古

敍勳三等授瑞寶章

## 河瀬子爵薨去

樞密顧問官議定官正二位勳一等子爵河瀬眞孝氏は廿九日薨去せり享年八十一歳生前の功により特に桐花大綬章を賜へり（東京特電）

河瀬子は山口縣士族石川傳左衛門の長男にして弘化二年二月九日を以て生る明治四年七月工部少輔に同九月侍從に同六年辨理公使に任ぜられ伊墺兩國に在勤す同十一年特命全權公使に任ぜられ伊國に在勤し同十二年議官に任ぜられ治罪法審査委員陸軍刑法審査委員高等法院陪席裁判官元老院幹事等となり同十六年司法大輔に又同十七年五月特命全權公使に任ぜられ英國に駐剳す同二十年特旨を以て華族に列し子爵を授けらる同二十六年十二月樞密顧問官に同三十年十一月議定官に任ぜられし人なり

## 自動車學校

小倉市外に設立

關門航空自動車學校を小倉市外に設立の件申請したり（小倉特電）

## 平北道知事

新任飯尾平安北道知事は卅日午後發連絡船にて渡鮮赴任すべし（下關特電）

## 潜水艦

鎭海へ向へり

三十日午前九時釜山發潜水艦鎭海に向けて出發せり（釜山特電）

## 高野博士辭退

桝本氏に代表交渉開始か

高野博士は四圍の事情の到底其任を果し能はざるを感知し二十九日夜斷然辭意を決し其旨農商務省に通じ更に三十日朝曉各新聞記者に辭退顛末を發表せり、したがつて政府は三候補たる桝本氏に交渉を開始するに致すべし（東京特電）

## 潜水艦と鎭海灣

仁川來航期は愈々七日朝十時

釜山市民の歡待して觀覽船潜水艦第五は豫定の如く三十日午前九時第二棧橋を離れ多數の見送り人を後に鎭海に向へるが母艦の汽艇の信號に依り母艦に分かれ碇泊中の驅逐艦、登舷禮をなし防備隊沿岸の零七と併行して碇留す田所司令官は三十日夕零ミ二百米突の間隔にて海上無事鎭海に着したり入港前一隻太田副官、山地參謀、佐々木慶南道知事等は汽艇にて零五を訪問し一應挨拶をなし後艦内の觀覽をなす田所司令官は三十日夜水交社に母艦側は司令官外各士官を招き饗宴をなす、同艦は一日午後三時發、福岡に行き四日午後二時福岡を發し七日午前十時仁川へ向ふ筈なり（馬山特電）

## 大阪財界便り

**貯炭額減少** 大阪安治川に於ける本月中旬末の貯炭額は三億一千六百八十餘斤にして之を前旬に比すれば八百八十五萬五千餘斤の減少を示せるが炭價依然保合狀態にて只だ産地の氣配强硬なるは需要期節の接近と共に前途の昂騰は免れざるやに見越され居れり

**證據金改正** 當地株式取引市場の假賍と共に暴落の傾向漸く大ならんとするの傾向あれば大株、東株を初め船株、紡績株等十五種に亘り證據金の改正をなし二十五日より先物に對して實行せり

**福銀支店準備** 株式會社福岡銀行は現在資本金五百萬圓にて太田清藏氏頭取として本店は福岡市に支店は東京其他各地に設置せるが近く大阪市にも支店設置の計畫あり過般北濱銀行常務取締役を辭任せし納富陳平氏の福銀取締役に就任せしは大阪支店開設の準備なりと專ら唱へられ居れり

**セルロイド重役增員** 本邦セルロイド界の合同統一により新設せられたる大日本セルロイド株式會社重役選定問題は頗る錯雜を極めしが差當り堺セルロイド會社系統より島村足穗氏一名を選出し他は候補者選擇中の處今回長崎英造、松田茂太郎、田中常德の三氏を就任せしむることゝなりて豫定の一員より一名增加したれば岩井商店系統より更に安野謙氏及び三井系統より社長の外に男爵安場末喜氏を重役に增加することゝなりたれば近く臨時株主總會を開催して重役選擧をなすべしと

**元山炭昂騰** 元山炭は主として家庭向きとして使用せられ漸次需要期節の接近と共に活氣を呈し最近に於て三圓乃至十圓方の昂騰を示し目下一噸に對し塊炭七十六圓切込み四十五圓粉炭百六圓見當の相場を唱へ居れり

**伊勢織物産額** 伊勢織物の八月中に於る産額は十四萬六千五百餘點を大巾物二百六十錢にて價格三十九萬三千五百餘圓にて前月に比し多少減額せるが昨年の同期に比すれば四萬二千八百餘點の減少なるが其基因は價格の幾分引締め氣味なると生産高にて製品の不足合は生産額の減少せし所以なりと（大阪）

## 本邦船現在數

遞信省の調査に係る本年七月末現在に於ける内地在籍の本邦汽船登錄數は合計二千八百三隻總噸數合計二百六十二萬千八百三十五噸にして内總噸數一千噸以上のものは六百九十隻二百十四萬五千四百八十二噸なり之を噸別に示せば左の如し

| 噸數別 | 隻數 | 總噸數 |
|---|---|---|
| 二十噸以上百噸 | [illegible] | [illegible] |
| 百噸以上三百噸 | [illegible] | [illegible] |
| 三百噸以上五百噸 | [illegible] | [illegible] |
| 五百噸以上千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 千噸以上二千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 二千噸以上三千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 三千噸以上四千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 四千噸以上五千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 五千噸以上六千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 六千噸以上七千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 七千噸以上八千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 八千噸以上九千噸 | [illegible] | [illegible] |
| 九千噸以上一萬噸 | [illegible] | [illegible] |
| 一萬噸以上 | [illegible] | [illegible] |
| 合計 | 二、八〇三 | 二、六二一、八三五 |

尚ほ朝鮮臺灣關東州在籍汽船數は[illegible]二十噸以上のもの三千六隻十一萬八千九百三十八噸なれば七月末現在の本邦汽船總數は結局二千九百八十六隻二百七十九萬三千九十九噸内千噸以上のもの七百三十九隻二百二十九萬五千四百十五噸なり（東京）

## 京畿旱害民救濟

京畿道當局者の談

本道に於ける農家戸數は自作六萬七千五百六十二戸小作十六萬五千百四十九戸にして耕地面積は畓十九萬九千四百二十一町歩田十八萬七千七百四町歩なる而して大正八年に於る重要穀物の收穫高は旱風害に原因し前年に比し左の如き減收を豫想せらる

| 種別 | 大正七年 石 | 大正八年 石 | 減收歩合 |
|---|---|---|---|
| 米 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 麥 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 大豆 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 粟 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 蜀黍 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 計 雜穀 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

右の内最も重要作物たる米に付各郡別に被害の程度を調査するに振威、富川は六割以上金浦、江華、坡州は五割以上高陽、廣州、水原、開城は四割以上其他の各郡（長湍一割五分龍仁の二割三分を除く）は

### 三割以上の減收を示

し頗る悲慘なるものあるを以て被害各郡に於ける經濟狀況を調査するの必要を認め取敢ず所轄郡に報告を徵したる所に依れば農家戸數二十三萬二千七百十一戸中十八萬三千三百三十戸は一年を通じて自家の所得に依り生活し得るも他の五萬三千八十一戸は明年麥の收穫前に於て相當救濟の方法を講ずるに非ざれば自活し能はざるものとす今是等に要する救濟者を月別に表示すれば左の如し

| 月 | 戸數 | 人口 |
|---|---|---|
| 一月 | [illegible] | [illegible] |
| 二月 | [illegible] | [illegible] |
| 三月 | [illegible] | [illegible] |
| 四月 | [illegible] | [illegible] |
| 五月 | [illegible] | [illegible] |
| 六月 | [illegible] | [illegible] |
| 計 救濟延人口數 | | [illegible] |

而して之に對する食料の最少限度に於て一人一日平均粟三合と見積るときは六萬三千四百九十四石此の換算價格百九十萬四千八百二十圓（一石三十圓）となり尚此の外に日常生活費を要し之を加ふるときは尠し其額は巨額に達す可し之に對しては相當救濟の方法を講ずるの必要あり就ては本道に於ては大體別記旱害民の救濟に關する件に依り各地に於て事業を興して勞銀を撒布し又或は地主を活動せしむる等の方法に依り地方住民の

### 生活の安定

を期す可く計畫し居れり上述の如く減收を來したるを以て試みに其の生産高を管内住民の食料需要高に比較し見るに米生産高百六萬五千三百六十石食料需要高百卅二萬九千五百十八石にして二十六萬四千百五十二石の不足を示し雜穀生産高[illegible]石食料需要高[illegible]石にして[illegible]石の不足を示し[illegible]思料さるゝも要するに[illegible]の補助に仰がざれば不可能なる問題なるを以て總督府の御考究を得度く目下案を具して申中にあり

## 通信收入好況

大正八年度七月分通信事業收入は六十八萬六千二百四十六圓にして豫算に比し二十一萬二千三百六十一圓（四割五分）を超過し前年度同月分の收入に比すれば十八萬六千五百十一圓（三割五分）を增收せり又七月迄の收入累計は二百二十八萬二千六百七十四圓にして豫算を超過すること六十五萬六千百三十圓（四割）前年度同期の收入に比し五十二萬八千九百四十三圓（三割）の增收となれり

## 印紙收入概況

大正八年度七月分印紙收入は六十六萬二千三百七十五圓同期迄の累計は二百六十四萬四千七百八十七圓にして前年度同期の收入に比すれば七月分は三十萬四千七百五十八圓累計に於て九十三萬五千百二十七圓を增收せり

## 旱害地取引

京畿以西の旱害地に對する商取引は京城にても漸次減退の狀態にあり手形取立の如きも各銀行にても鮮人方面行は躊躇せず引受けつゝあれど其實行は餘程困難のものにあらざれば之を無條件にて引受けず一般商人も此傾向を熟知し漸次手控への狀態なるため結局商取引は漸次閑散に傾くならんと

## 理想的鐵道村

鐵道院にては五箇年計畫にて大阪附近の吹田に日本一の大操車場を建設し且つ其附近に理想的の鐵道村を建設すべき目論見にて既に多數の工夫を使役し地均し工事に着手し居れり

## 標準時復舊

南滿鐵道にては本年六月より標準時を一時間引上げ居りしが九月廿六日より從前の通りに復舊したりと

## セミヨノフ將軍一行

セミヨノフ將軍夫人一行七名は三十日夜釜山入港連絡船にて上陸大池旅館に投宿したるが一日午前十時急行列車にて北行の筈（釜山特電）

## 辭令

總督府殖産局長 西村保吉

同 事務官 神田純一

總督府林野調査委員會委員仰付

總督府事務官 林繁藏

朝鮮關稅訴願審查委員會幹事被仰付

同 事務官 矢鍋永三郎

同幹事被免

依願免本官 總督府道監 慈惠醫院醫官 星三藏

依願免本官 判事 金炳夏

依願免本官 釜山地方法院部長判事 大谷信夫

補高等法院判事

## 對露貿易沈衰

敦賀町にては本春以來露貨の暴落にて輸出業者及び替商は勿論一般商人間に於ても思惑買をなせしもの尠からずして際立なる打擊を被りし爲め來町露人の一般に疲弊の兆候を見せし折柄浦鹽方面にては露貨暴落防止の一策として一般貨物の輸出入禁止を行ひたる由なれば往復航に於ける積載貨物は益々減少し加之今回同地が虎疫流行地と指定せられ海港檢疫法規の適用を受くることゝなりたれば乘客は萬止むを得ざる者の外は往復せざる事となり爲めに貿易業者に勿論初め一般商業に及ぼす打擊は甚大なるが如し

## 海員養成不振

遞信局の仁川海員養成所は九月十五日より本科生の授業を開始し十月一日より別科生の授業を初むる由なるが入所希望者は僅に十三名にて本別科共定員の半數に至らざるなりと

## 工藤知事著期

新任京畿道知事工藤英一氏は十月三日午後七時二十五分南大門驛著列車にて着任の豫定なり

○松永醫長園遊會開催 新任京城醫院長松永武吉氏は十月一日午後二時より自邸に京城醫院總督府外事課各職員全部を招待し園遊會を催すべし

## 人事消息

▲井上主計氏（忠北第二部長）三十日入城山本へ

▲望月瀧三氏（總督府道技師）技師會議出席の爲出府を命ぜられた

▲新田榮次郎氏（總督府鐵道部工務課長）咸鏡線南部及北部工事狀況視察の爲め出府十日附往復廿日間の豫定を以て出張を命ぜられたり

## 鳥瞰錄

露國人は何うも不可解な人種であつていくぢの無い事も有る事でもない▲浦鹽の露紙コローロス、アリモーリアが先達米國の對露政策を攻擊して唯口先の記事を見た浦鹽駐屯の米國兵が大に痛快に感ずる▲其の一杯機嫌で新聞社を襲擊しさうな氣勢を示した▲すると新聞社は急に怖氣付いて當分休刊すると云ふ事となつたので▲露國へ廻つて米兵は大きな舌をペロリ▲此の樣ないくぢの無い新聞社は世界に二つとなからうが米兵の高飛車に出た處は島國日本では出來ぬ藝當である▲飛行機大流行の今日紐育では空中二十哩の處で結婚式を擧げた頓馬な男が現れた▲新郎は米國飛行隊附中尉パーゲッスと云ひ新婦はリー、シエツフアーと云ふ美人▲新郎新婦は一臺の飛行機に乘り式場は第二機に搭乘して其處から無線電信を以て式典を讀み送ると新郎新婦が誓言を交はさる▲地上の千人の招待客には無線電話交換器に取附けたメガホンで一々此等の言葉が明かに聽き取られたさうだ。

## 鮮滿片々

### 滿洲銀行設立

滿洲金融界調節の任に當るべく大連在住日支人有力者廿八名を發起人として曩に設立認可を出願してゐた滿洲銀行は大藏省の認容する所となり之が創立準備を急速に進むる樣である（大連）

### 防疫本部引揚

大連の防疫本部は虎疫終熄の狀況に鑑み三十日限りにて民政署に引揚げ事務を取扱ふ事となつた（大連）

### 東亞木材重役

計畫中なりし東亞木材株式會社は二十五日安東公會堂に於て創立總會を開き協議事項を附議せし後社長並に常務重役は左の如く決定した（安東縣）

社長吉谷彪、專務花戸貫一、常務高橋貞二

### 輸城羅南間工事

咸鏡線輸城羅南間の鐵道開通期は來る十一月一日の豫定であつたが過般の暴風水害のため羅北附近堤防の兩側流失し之れが復舊工事に相當の日子を要するにつき開通豫定の期日多少延引し多分十一月中旬になるだらうとの事である（清津）

### 清津下關運賃

清津港下關阪神間の穀物運賃は從來百石につき百九十五圓であつたが朝鮮郵船商船互光の三會社協定の結果六月以降九月末まで特に清津港より積出物に限り百石五十五圓の割引をしてゐたが九月末を以て期限が滿了するから十月一日より復舊することゝなつた（清津）

### 金州丸忠魂碑

咸南の有志者間では去る明治三十七年四月二十七日利原より元山に歸航の途中新浦沖で露國浦鹽艦隊のために擊沈されし御用船金州丸乘組將卒七十五名の殉難者の英靈を記念すべく新浦公園内に七百五十圓を投じ忠魂碑を建立すべく目下寄附金の募集中である（新浦）

### 米國軍に抗議

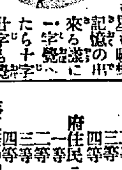
頭領カルムイコフは米軍が三名のコサツク兵を逮捕したのに對しコサツク軍最高代表者に對し米軍が再びかゝる不法行爲をなさしめざるやう且つ米軍に對して若しこれを承諾せぬ時は烏蘇里より撤退せしむべしと要求したと云ふ（哈爾賓）

### 西伯利紙幣全廢

十月一日より愈々現在の西伯利紙幣全廢され既にケレンスキー時代米國に注文した紙幣を以てこれに代ふる事に決定したさうで米國も右の新紙幣をコルチヤツク提督に渡し尚ほ次回の印刷をも引受けん意向のやうであるが露國政府は今後の印刷を自國でやり之れに必要な機械並に材料を米國より西伯利に輸入する計畫らしい（哈爾賓）

## 文樂の淨瑠璃

[illegible]

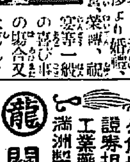
●覺えたら忘れぬ

新案記憶引字引あり。

空前の名著 十數年苦心せる考案にして其文字の排列順序は吾人の記憶ミ日常の索引に一大改革を加へたるが故に日ミ云へば月も星も聯想記憶の出來る樣に一字覺へたら十字廿字も覺えられる一度覺えたら決して忘れず他の字引の五倍も十倍も役に立つのが本書の一大特色である讀めさへ讀める人なら自由自在である▼本書は一冊定價一圓廿五錢の處今回五十版發表記念の爲め特價金八十錢とす希望者は新聞名記入ハガキで注文あれ破格後金引換郵便にて送る●前金注文は送料共金八十八錢

振替東京一四一二 東京市麹町區山元町二ノ八 平和堂

新作文速成方式 一冊無代進呈 先着二十名に 短期上達



男女共に心得べき 挨拶の仕方

▲▲社交の秘訣

一般の挨拶の仕方や儀式の心得を知らない爲に恥をかいたり笑はれたりして居る人が澤山ある本書は其の候の挨拶より婚禮、出産、招待、訪問、入營、榮轉、祝宴等一般の喜びの場合又は死んだ時病氣の時其他此種の挨拶の仕方並に訪問者の心得等を詳しく述べ其の他和洋食の食い方に至る迄詳細を盡す實に男女萬人必備の良書なり尚附録として社會百般の即席演說を集め何人にも應用自在也

即座演說集

特價金八十錢 東京青山南六ノ八 振替東京二七四七三 有教社

廣告

十月一日ヨリ左ノ通リ洗濯賃金改定候也

一ワイシヤツ
一カフス
一小カラ
一カラ
一ダブルカラ
一ムネ
一羅紗セル絹中服 金壹圓以上
一同チヨツキ 金參拾錢以上
一夏服綿リンネル 金四拾錢以上
一本セル麻服 金五拾錢以上
一タビ 金七錢
一看護衣手術衣
一豫防衣
一サンバツ服
一夏服チヨツキ
一巡査看守服
一學生服
一シキフ
一包巾
一單衣
一ネルセル單衣
一メリヤス
一毛メリヤス
一手布

京龍洗濯組合

京日案内

申込後中途掲載中止は料金不返戻 六回以上の申込は特に割引の事 原稿は返信附に非ざれば回答せず

◎商業學校教員招聘、資格高商卒業程度、詳細は左所へ照會 京城本町三ノ五〇 淨土宗開教院

醫師 内科部員一名 看護婦及見習數名採用ス希望者履歷書ヲ添ヘ申込 釜山草梁 鐵道病院

内勤社員招聘 高給 但内地人希望者ハ來社ヲ乞フ 京城長谷川町五八 帝國公債會社支部

御袴專門 仕立入念◎期日正確◎價格低廉 京城本町四 山崎袴店

金融 月收の方に兩秘信用貸金御來談被下度御都合にて御伺上候 京城本町三丁目四六 大和屋

西洋料理すき燒 中華料理 大勉强仕候是非御試食乞ふ 明治町二丁目交番向通 丸木バー

高級外務員招聘 憲兵退役者ヲ歡迎ス 京城南大門通二 太平生命保險會社

麻玉糸製造 京城元町一丁目 竹内工場

龍 開澄商會 大連株式同業組合員 滿洲證券現物直場仲買 大連市若狹町一三 電話長一七九八番 振替大連二二〇二番

公債株式現物賣買 證券擔保之金融信託 工業藥品理化學器械 滿洲製紙會社特約店

◆店員募集

一、左の各項に準ずる店員を採用す

一、志望者は將來に有し商人を以て自己を任ずる者

一、年齡十八才以下小學卒業程度

龍山鐵道構內 食料品商 中崎宇宙屋 電話五五二番

公告

一、食糧品番油外百五十六點

右來ル拾月二日午後三時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

京城府條例第四號

府協議會ノ諮問ヲ經テ許可ヲ受ケ順化院使用條例中改正ノ件左ノ通改正ス

大正八年十月一日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

大正三年京城府條例第十三號順化院使用條例中左ノ通改正ス

第二條中但書ヲ削除シ區別ヲ左ノ如ク改ム

府民

一等 一日 金三圓
二等 一日 金二圓
三等 一日 金一圓
四等 無料

府民ニ非サル者

一等 一日 金五圓
二等 一日 金三圓
三等 一日 金二圓
四等 一日 金一圓五十錢

第三條中「二十五錢」ヲ「三十錢」ニ「二十錢」ヲ「二十五錢」ニ改メ二等ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

三等 一食金十五錢

附則

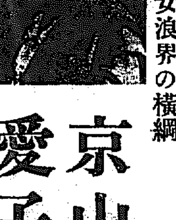
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

移轉廣告

弊所儀今般業務發展を計り左記に新築移轉仕候間倍舊御愛顧の程願上候

京城府西界洞三十二番地

京城鐵工所（電話一、一三二番）



御待兼の 歐米巡行新歸朝者 東都女浪界の横綱

京山愛子

愈々今晚六時開演

浪花館

メリヤス類 製造販賣 御直段表無代進呈

名古屋市千種町 樋口メリヤス製造所

明太の子 產地時約入荷

みかん 十月中旬早生物入荷

果實、野菜、海產物、雜穀、委托賣買

貿易問屋 京城南米倉町市場 岩城商會

振替京城一〇〇六番 電話八四二 旭川柑橘組合指定問屋 蓬萊生命保險會社代理店

戰後の劇務を處理する第一歩はパイン萬年筆の使用に始まる

優越せるパインの名は今や小兒の記憶に迄新たなり

羅紗金飾 金八圓八十錢
同 無飾 金六圓八十錢
吸入式 金五圓八十錢
實用金飾付 金六圓八十錢
實用 金三圓八十錢
學生號 金二圓八十錢

發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

酸素鎔接

一ボイラー修繕

一諸金屬鎔接及切斷

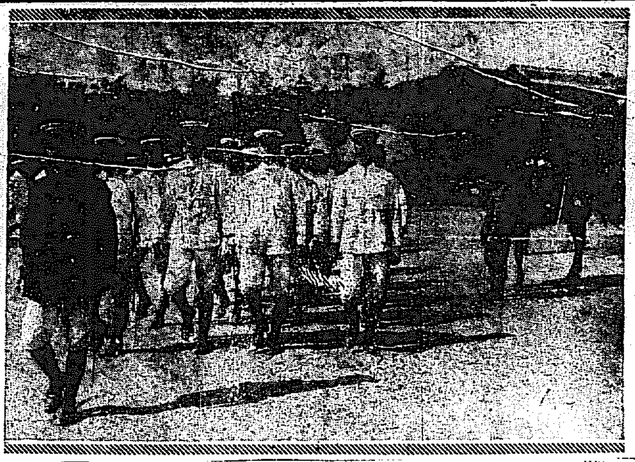
一其他修繕は迅速叮嚀を旨とす

京城長谷川町九一（電話一參八九）

京城酸素鎔接所 遠藤一


大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]



警官の實地教練（夕刊記事參照）

## 避暑地投票一等當選地
# 儒城温泉より (6)
### 天惠の土地をして發展せしめよ 鷄龍山の美觀を紹介す
寺田斗鹽

儒城温泉の將來に於ける消長は天然の惠みを人工の設備で如何なる程度まで生かし得るかの問題であります。私の見たところでは前にも申し上げた通り天然の惠みは先づ豐な處と云ふを憚りません。景色眺望も佳い。産物も豐である。交通も至便である。それに

### 温泉の財産
とも云ふべき温泉の湧出量は現在でも一晝夜三千石位はあります。温泉脈は現浴場附近十町四方位はどこを掘つても湧き出るさうだがその附近三十餘町歩は會社所有の喚にて第一着手として買收する計畫ださうです。それから儒城は儒城米の産地として知られて居るだけ米の質が佳く、西瓜、桃、梨、林檎等果實類も産物の一つとして豐富なものです。

### 西瓜などは
素晴らしく大きなそして美味なものが多いことは西瓜糖の製産があるのに見ても判ります。其他バスケットとか木通とかの製産品もあります。斯うした天惠のあるところを現在のまゝに抛擲して置くことは獨り儒城温泉の損失のみならず大田としても餘り他人行儀に過ぎはしまいかと思はれます。此の點に就ては温泉會社が

### 巨費を投じ
て發展に資し浴場や郡廳あたりでも亦可及的の便宜を圖ると云ふ意志を選ばれたに居られません。尙喀痰の療養所としても温陽や東萊あたりより優れ居るとか近く同地に移される計畫だと云ふことです。さて儒城は之位にして儒城附近の遊覽地とも云ふべき名山鷄龍山の事をこゝに附記して置きませう。鷄龍山は

### 李朝時代の
遷都候補地として選ばれたこともあり既に山嶺に石材等まで集めたまゝになつて居ります。儒城からの里程は二里半であつて殆んど籠や俥や自轉車が通ひます。山から半里位のところから道は溪流に沿ふて居ります。脚下に奔湍を見或は瀑布を渉り、淙々の響き、潺湲の音を聞きつゝ行く中には

### 頭上の斷崖
から練絹のやうな瀧が落ち來り或は屏風を繞らしたやうな山巓に路が往來したりして快哉を叫びたいことが度々あります。山に入つて眺望に恰好な場所に東鶴寺と云ふ寺があります。此の寺の住職は大變歡待な方で客を歡待するので登山者は大抵此の寺で食事を馳走になつたり泊めて貰つたりするさうです

### 全山の姿は
屏風を繞らしたやうだと云ふのが一番適評であつて秋の紅葉時は萬山黄に映ね紅に燃ね實に絢爛の美觀を呈します。あまり長くなるので鷄龍山の紹介も之位に止めて置きますが儒城に遊ぶ人は一度は是非此の山を探つて貰ひたいと土地の人達は自慢にして居ます（完）

# 獨逸へ
### 三浦公使一行出發す
松浦中將も同行

駐獨特命全權公使三浦彌五郎、文部書記官栗屋謙、內務書記官稲垣守方、農商務書記官高橋武美、大使館書記官田村幸策諸氏外五名の講和條約實施委員は三十日正午門司解纜の郵船若狹丸にて愈々渡歐の途に上りたるが陸軍技術審査監督官として獨逸に出張を命ぜられ居れる下關要塞司令官松浦善助中將も又同船にて渡歐の途につく筈なり中將は愉快さうに語る『當分は巴里に留まり牛乳風呂にでも浸つて形勢觀望で頤を撫き戰後の獨逸に入つてさ、英國にも行く筈だが目的の獨逸入りは何時になるか今の所瞭想が付かない、まあ花の巴里で男振を見せてやるさ、無論現職の要塞司令官で行くのだ』と頗る上機嫌なり（下關電報）

# 疊の上の水練では
### イザと云ふ時役に立たぬ 夫れで實地教練を行つて見た 小銃隊も必要が有らう

『二十九日武裝警官が京城選の任に著いて居たとて別に何等の變つた意味がある譯ではない』と下部保安課長は笑ひながら語る『實地教練を行つて見たら、これからも度々繰返されるかも知れぬ、

### 如何程口
で教へても然う急に呑み込めるものではない殊に短日月の間に速成しやうといふ今度のやうな場合には臨機の方法を執らなければ駄目だ、疊の上の水練では卒ごいふ時の役に立たない疊の上では理を教へるだけで眞の水泳は水の中でなければ覺えられぬ、警察官の實地教習も

### 其の意味
から創出されたもので室內で三回五回の教習をやるより室外で一回の實地教練をやつた方がどれ程頭に入り易いか知れない、殊に警察官も或場合には軍隊同様に部隊運動を爲す必要もあるし共同動作や統一連絡等の練習が必要である事は言ふまでもないのだから、それやこれやで

### 武裝教練
の開始をした譯だ。新設の警官小銃隊は朝鮮のやうな荒漠な地では或場合にはその必要なきにしもあらずで萬一の不慮の場合に備へるに外ならない、事變が發してから騷いだとて何にもならないではないか、未前に事變を防止するのが警務機關の

### 運用の妙
と云ふ可きで社會の安寧秩序を維持する法は一に警務機關の充實と機敏とに基づく吾々も大に勉強するよ』と深く豫期する處があるらしい面色であつた。

# 紫の煙
### 實彈戰鬪射擊見物 (2)
## 砲兵陣地から
廿八日、於平康 小龍

私ら佐藤參謀、敗じさ、雪のやうに咲き縮く蕎麥畑を縱斷して走つた。赤蜻蛉が頻りに飛ぶ放列には和田大隊長もゐた。同田統裁官もゐた。見學の兵器支敵長山田砲兵中佐もゐた。戰闘射擊は今將に酣である。與へられたる此日の想定は次の通りであつた。

（一）攻擊末期に於ける敵砲兵の射擊妨害
（二）敵正面敵步兵の撲滅

金化方面より前進せる東軍第二十師團は九月二十八日鴨山附近を占領せる敵に對し平康及び南方郭道線路附近に展開中なり

師團の左翼隊（步兵第四十旅團を基幹とす）は鴨山北方曲線の高地內其以南鴨山に亘る敵に攻擊中にして右翼隊に協力すべき野砲兵第一大隊は平康東南方五百米突無名地附近に陣地を占領し左翼隊の攻擊に協力中なり

左翼隊は師團の攻擊進捗に伴ひ敵前約六百米突に迫り砲兵第二中隊は左翼隊の前進に連り平康停車場南方千米突無名橋附近に向ひ陣地變換中にして中隊長は先行して無名橋附近にあり

之より前閉鎖曲線西方八百米突にあり、敵砲兵は沈默しありしも我步兵の接近に依り其砲火を我が左翼隊方面に集中し兵を廢正面の步兵及び擲彈筒に……せしめ我攻擊隊の前進困難なり此時左翼隊副官より左の通報を受領す

（一）狀況は貴官の見らるゝ如し、貴中隊は速かに無名橋附近を占領し前面の敵砲兵を制壓せられ度し

（二）敵砲兵は我砲火の効果に依り漸く沈默す、我步兵は敵前約三百米突に接近し將に突擊に移らむとす、閉鎖曲線の高地に敵機關銃現出し我攻擊步兵に向ひ猛射す

右の想定に基き統裁官は先づ狀況一を與へ砲兵に對し射擊せしめ次いで狀況二を與へ中隊長の決心を求め廢正面の步兵及び機關銃に對し射擊せしむる事になつてゐる、私達が馳せつけた時は、中隊は既に敵砲兵を制壓し、我步兵は敵前約三百米に接近し將に突擊に移らむとしつゝある時であつた、依つて我砲兵は廢正面の步兵及び擲彈筒に對し盛んに猛射を浴せてゐる。

『信管一ッ高めー第一第三發射ー右より一發ー』清く澄んだ高森中隊長の號令は爽かな秋の晴れの空氣を破つて響き渡る、號長が之を復唱すると、砲兵陣地では各長が同じく號令を繰返す。『信管一ッ高めー第一第三發射ー右より一發ー』と忽ち砲口から火光一閃、轟然と腹を破るばかりの砲聲が起る。して砲彈はグググと唸りを立て、敵陣地の上に炸裂する。其の煙がほかほかと宛ら春の夕雲のやうだ。私は此の男性的な勇ましい光景に接して、我を忘れて砲兵陣地を眺めてゐた。四圍の山々遠きは碧く近くは濃く、野も森も林も靜まり返つて時々彈の飛ぶ物音が聞える許り。

# 潛水艦觀覽延期
### 仁川入港が遅れた爲 詳細は追つて發表す

戰利潛水艦仁川入港期は十月七日に延期されたるを以て一般に觀覽を許すは八、九、十の三日間となるべく本社主催の潛水艦觀覽も自然之に伴ひ同日迄順延の事と成りたり尙ほ觀覽申込者への觀覽券頒布抽籤は本社に於て目下申込書整理中なれば其結果は不日本紙上に發表すべく潛艦觀覽に關する心得其他諸般の事項も同じく紙上に詳細掲載すべし

# 猛威を揮ふ
### 虎疫益々 新患者續發

**群山** 群山府及び沃溝郡內の虎疫患者は其後益々蔓延し廿九日正午迄に累計群山六名沃溝郡二十九名に達し內二十名死亡したり群山府及び警察は極力防疫に努めつゝあり

**長箭** 廿六日江原道高城郡長箭店に鮮人三名擬似虎疫に罹り內一名死亡系統は元山方面より來れる旅行者よりと思惟さる（二十九日發電）

**長湍** 長湍郡の虎疫は漸次蔓延の兆あり同郡長湍面中里に二十四日二名發生し內一名死亡したるが更に二十七日同里八百四十八番地林氏同九百七十四番地羅敬化は檢便の結果何れも眞性虎疫と確定したるが羅敬化は發病後間も無く死亡したり同郡の虎疫は是にて初發以來七名に達したり

# 日本刀で自殺
### 平壤の高利貸

大分縣日田郡日田町生平壤水玉里九十一番地高利貸帆足四郎（四八）は三十日午前十時自宅便所內に於て銳利なる日本刀を以て自殺を遂げたり原因は強度の神經衰弱の結果なりと詳細は後報す可し（平壤特電）

# 一千圓横領
### 集金人の惡事

南大門通り五丁目六十三番地牛飽吉方雇人齋藤武助（二九）は計文飯集金に從事中前後十回に亘り總督府臨時工營所工事費一千餘圓を受取り横領したるを本町署の探知する處となり本月十八日同署に引致取調中なりしが二十九日檢事局に送らる

### 今秋入城する滿洲俱樂部
（後列右より）清水捕手（補）、高橋一壘、荒投手、眞田投手（補）、高橋三壘、大門中堅（前列右より）岩澤遊擊（補）、中澤捕手、堀田左翼、森田二壘、庄崎遊擊、人見右翼

## 綴衝欄 投書歡迎
### 文明の人に
一府民

君の述べた文句は極めて幼稚で支離滅裂殆んど理論をなさないが要するに公德を無視して我利に狂奔しようと云ふにあるらしい、君は人馬車の混合した雜踏せる行通を見て淺薄にも是が都の常態で且つ文明の現象であるかの如くに考へて居るらしいが夫れが第一非常な誤想だ、成程行道の雜鬧は都市殷賑の象徵に違ひない、併し乍ら人と車と牛馬とが混合雜踏して居る通行法は、都市の施設として執らない處である、君は僕が東京さへも見た事のない田舍者だらうと云ふが事實は正反對で君こそ井底の蛙以下の世間不知だ君は大阪の心齋橋筋が狹くから車馬の往來が禁止して居る事を知るまい、又近く東京に於て警視廳が銀座街の車馬の行通を禁止し一時的に制限し之を通行の方法と稱して雜踏整理を試みた事實も知るまい、尙近くは本月十五日より新座、日本橋、須田町、上野廣小路等に於ける車馬の通行禁止を實施した事も知るまい、此禁止制度は全く雜踏と其見を同じふするものである、此際君は東京大阪兩市の爲政者を目して同じく田舍者也、井底の蛙也と罵言するの勇氣と面目とを有するか、君によつて見るが物質文明が進むに從つて人命危險のプロバビリチーが次第に増加して來る其處で一方此危險を豫防するため行政的警察の作用となつて各種の取締法を設けるのである、彼の車馬の行通を禁止するのも、人道車道の區別を設けるのも右側又は左側通行の方法を執るのも皆是れ均しく此趣旨に出て居る、故に吾等が京城のメインストリートの一部とも云ふべき本町通りを今日の如き人馬車雜踏の巷に放置しなくのは非文明なりとして其改善を當局に望んだので、君の如き我利上の私說とは大に其見地を異にして居るのだ、嗚！

# 京日紙上俳句會
### 愈本日より出句を連載す
### 出句者無慮六百二十一人 出句總數二千三百六十四句

**選句規定左の如し**（出句發表は第四面）

豫て募集中なりし紙上俳句會出句は愈々去る二十五日限り締切り先づ整理に着手したるに出句者六百二十一人（內三十人は各一句宛出句）出句總數二千三百六十四の多數に達し一時に發表するとは困難に付き整理濟次第逐次發表すべきを以て其の中より攷選を爲し置き全部發表後當該優選句中より『砧』『蟋蟀』の二題を通じ最も慎重に四句選抜の上郵便葉書に選句番號（『砧』何番、『蟋蟀』何番等と記載のこと）選者雅號並に住所氏名を明記し『京日紙上俳句係』宛至急送付の事但し選者は必ず出句者たるべき事。

### 北漢山登り
朝鮮殖產銀行員二百餘名は今一日洗劍亭を經て北岳の急峻を攀じ附近一帶の秋色を愛でながら一日の清遊を試みる筈

### 簡易商業學校の修了式

日出小學校內京城簡易商業專修學校にては二十九日午後七時半より第七回修了證授與式を行へり大山校長の報告によれば本期（自四月至九月）入學生は百七十一名退學生七十名にて內欠席生三十一名あり學期試驗を受けたるは七十名にて修了生六十二名未修了生八名の結果を示したる由にて精勤の者に對しては夫れ夫れ賞を與へ成績優等生には賞品を與へられたり來賓の主なるは服部東部組合議員、山中組合議員、石原、山本、河野の四小學校長並上枝龍學校長及篠崎半助氏等にして後祝辭あり了りて學藝會に移り午後九時半盛會裡に閉會せり因に新學期の入學申込は續々ある模樣なり

## 將棋虎廼巻（六）
### 待駒とシバリの可否
本社贈呈 滿呂木六段述

錫局は戰爭だと思へ

將棋に待駒及びシバリを打つ事を卑怯のやうに心得て忌み嫌ひ互になさざるを禮式のやうに心得て居るものが世間に少くない又對局中に待駒は惡いイヤ構はぬと

### 議論の生
じるのも聞くですが、待駒は果して卑怯かシバリは其座に汚いものか法を指す指さぬは大變勝敗に關係の多い事ですから一言して見ましやうと思ひます、元來待駒といふものは敵の王將の退路に待受けをする手で、此伏兵が多くの場合敵の王將が逆馬に落延びんとするのを喰止める際に用ひらるゝので、丁度

### 日本海戰
に敵の波羅的艦隊が浦鹽軍港に入らむとしたのを我艦隊が對馬水道に扼して喰止めたのと同一の理で、當然の豫備行動ですから少しも卑怯と呼ばはりをする理窟はないのです。自己が不用意の爲め先の手が見わず未だ度々とした退路があるやうに思つて居る處へ、不意に待駒を打たれた爲め

### 急に退路
を失ひ、苦し紛れの餘り待駒の卑怯呼はりをするのは甚だ女々しい振舞と言はねばなりません、一度盤に對して敵と火蓋を切つた以上は武士が戰場に臨んだやうなものです、那の手で突いては不可ぬ此の手で切つてはならぬと苦情を云ふ譯には行かぬ

### 國際公法
に違反せぬ限り正當の攻法を執るのは戰爭に自由であるのと同樣待駒は棋戰に於て差支ないものとして許すべきが當然だらうと思ひます。尤も步詰、二步、千日手等のやうに將棋道に絕對的に禁止してあるものは格別ですが其外は手は何を指さうと夫れは其人の自由權利です

## 不動產賣却
一 龍山、信川、海州、鳳山、洪川、堤川、公州、論山、求禮、寶城、其ノ他各郡所在田畓百拾參萬餘坪
右十月三十日入札ニ附ス詳細ハ公家ニ就キ熟知セラレタシ
大正八年十月一日 李鋼公家

## 運動界
# 滿俱來る
### 試合は本日 午後一時より擧行

滿洲野球界の覇者滿洲俱樂部一行十七名は故國の大學チームを一蹴するの意氣込にて愈々今日午前七時龍山に到著の豫定なり京管局よりは林君安東まで出迎へ本社よりも記者を特派したるが一行は到著後直ちに驛前太陽館に投じ遠征の勞を醫する間もなく午後一時より鐵道公園に於いて第一回戰を擧行する筈今回の對戰は法政の林田と眞鍋人の岸との顔合せなれば或意味に於て投手戰とも云ふべく兩軍の勝敗は天下の弱者なれども鐵道も去る者なれば豫斷すべからず緊張した試合振り白熱したる接戰は恐らく今秋の運動界第一の觀物なるべし、猶滿洲俱樂部の東京五大チームとの試合日割は左の如く決定し居れり
▲十月九日法政大學▲十二日慶應義塾▲十四日明治大學▲十七日第一高等學校▲十九日早稻田大學

浪花節田 浪の京山愛子

### 演藝
▲浪花節● 浪界の女王として定評ある京山愛子一行は昨三十日夜入城自動車五臺に分乘して花々しく町廻りを爲し本日より浪花館に於て開演の筈なるが定めし好評を博するならん


## ●●●●●醬油値上廣告

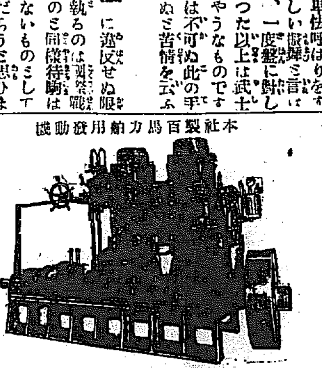
謹啓秋冷の候各位益々御清榮の段奉慶賀候陳者其後引續き原料の騰貴は底止する處を知らず加ふるに容器工賃等又暴騰を告げ不得已拾月壹日より左記之通り値上實行仕候間何卒倍舊御引立の程奉懇願候

一大樽
一小樽 共 壹割貳步上げ

京城醬油釀造組合
仁川醬油釀造組合
大田醬油釀造組合
群山醬油釀造組合
平壤醬油釀造組合
鎭南浦醬油釀造組合
元山醬油釀造組合
大塚醬油釀造所
水原釀油合資會社
荒卷醬油釀造場

永登浦
水原
江景

本社製百馬力船用發動機



株式會社公認電鐵工所改
# 東京發動機
資本金壹百萬圓 船用輕油發動機 高級工作機械專門
營業部 東京京橋區加賀町一（電新三四八五） 本社工場 市外南品川
專賣特許松尾式發動機ハ○○輕油節約○○價格低廉ノ特徴ヲ有ス
西部總代理店 角輪組

船舶用發動機 新品並ニ古品 附屬品廉賣 下關市明石町 島田貞二商店

苦心改良の結果…… 富士（眞なし） 鷹（眞なし）
# 蒲團綿
日出、松、竹、
品質優良價格低廉…… 梅、天、地、八
京城府黄金町二丁目
朝鮮製綿株式會社

鱗狀 土狀
# 黑鉛
原礦、採掘 粗製、半製 精選、細末 鑛區賣買
各種共在庫豐富應貴需
京城府漢江通八番地（龍山三角公園前）
朝鮮黑鉛商會（電話長六四二番）

# みだれ咲き

第百六十一回 島山碧波作 森田久畫

操子は鰻の丼を持つて入つて來たお蓮より、夢に夢見るやうな耳打をされた、と同時に手足は勿論口舌の自由を得たので。

『難有うございます』

何よりも先きにお蓮の前へ兩手を突くと。

『お嬢さん、そんな眞似をして居る場合ではございません』

お蓮は起つて電燈の螺子を捻ると、廣くも無い部屋の内は再び暗の世界と化した。

『召上る物は表に出れば幾らもありますから斯んな物をお口になさらうとは思つては不可ません、毋屋の者が貴女が是れを喫つて居ると思つて居る内に逃げ出すのです』

『私は是れに優る幸はありませんが、後で貴女樣の御迷惑に』

『さア出掛ませう、お氣味が惡くも跣で行らつしやい』

殘る方なき注意を與へるお蓮は、夢に夢見る心地の操子を連れて暗い庭へ降りた。

『何でも構はずに私と一緒に居らつしやい』

お蓮は八方に氣を配つて裏木戸の方へ出て行つた。

『あらどうしたのだらう、今まで電燈が點いて居たのに消へてしまつたのかしら』

聲の主は女將のお藤であつた。ハッと思つたお蓮は、操子の手を强く引いて其處に腰を屈めた。

『お蓮ちやんどうしたの？』

暗い離れ座敷の中に入つてお蓮に訊す女將の聲が手に取るやうに聽ねた。

『此の間逃るのです』

『後ミで悠りお話をしませう』

牧野ミ次郎吉は二婦人を急ぎ立て、自動車に乗せた時。

『待てこらッ……』ミ、驅け付けて來る四五名の若者、夫れは無論花の家の追手であつた。

『何を云やがるのだ』

ハンドルを堅く握つた運轉手の牧野は、冷笑を後に殘して急速力の運轉を開始した。

ならやうな事がありませんか』

『何を仰しやつて居るのです、私も御一緒に逃げ出すのです、わ夫に表には牧野さんが自動車を持つて來て待つて居りますから少しも早く出掛なければ不可ません』

『あら牧野が參つて居るのでございますか』

牧野が自動車を持て迎へに來て居るミ云ふ一語は、令孃操子の頭へ破れ鐘のやうに響いた。

操子が思はず知らず大きな聲を出すミ。

『シッ……』ミ、制したお蓮は聲を潛め。

『大事な場合ですから聲を出しては不可ません、詳しいことは後で判ります』

暗を手探りに操子に着せたのは、今まで自分の着て居た金紗の[illegible]であつた。

失敗すれば二人共ゑらい目に逢はせるか判らない、お蓮は操子の手を曳て裏道の方へ驅け出した。

『モウ少しですから我慢をして居らつしやい』

空腹ミ疲勞は其極に達して居るか、虎口を脱して母親に逢はれるミ云ふのであるから、操子はお蓮ミこもに一生懸命で驅けた。

『あれ彼處です』

二丁ばかり先に自動車のヘッドライトが暗い街頭を照らして居る、夫と知つたお蓮は操子に勢ひを付けた。

『おう御孃樣……』

此處まで迎へに來て居た牧野ミ次郎吉が聲を掛けた。

『あらお前は？』

次郎吉ミ知つた操子が逃げ出さうミするミ。

『お嬢樣、次郎吉は前非を悔悟して居りますから御心配無用です』懷しい牧野の聲を久し振りに聽いて操子が。

『おうお前さんは？』

鍼灸 濟生堂 入院隨意 玄關 藤井百太郎 本町三丁目

## 京日紙上俳句會 出句發表

▲砧▼

一 澄める夜を燈闇に砧す遠砧
二 忌に籠る夜を佛間灯悲し遅砧
三 漂泊の女ありけり砧の音
四 病床に水呼ぶ聲や遠砧
五 目いて影をうつなる砧かな
六 砧うつ洞や貧家のうづ高き
七 更くるほど冴ゆし月夜や遠砧
八 月の夜や砧に遊ぶ時の鶏
九 終ひ湯にひそり聽入る砧かな
一〇 病める妻に又打だせし砧かな
一一 小夜砧灯影褪けき小驛かな
一二 遠砧母亡き今日となりにけり
一三 月野隔て、音嗽び來る砧かな
一四 岸手止めて聽返し居り打つ砧
一五 相倚りて打つ砧月の里
一六 遠砧穗草に風の戰ぐ音
一七 砧流る、窓の青眼月が動かで
一八 砧響く山寺より泣く皇子ありて
一九 島に灯の一つ見へけり遠砧
二〇 破に入りたる砧の打止みぬ
二一 逗留長引く温泉村や宵砧
二二 砧夜や故人阿七を悲しめり
二三 旅愁うたい胸抱く夜や遠砧
二四 雨傘の月に更け行く砧かな
二五 夕べ踏む草には砧ゆる、風
二六 嵐の後のさやけき打てる砧也
二七 兒の遊ぶ音韻に砧和してけり
二八 一つ〳〵秋を深むる砧かな
二九 騷擾の里とも見ゆすうつ砧
三〇 限りなき想ひのぶ夜の砧かな
三一 夜もすがら月に聲ある砧かな
三二 ころ聲も交りて宵の砧かな
三三 夜毎々々が旅魂に砧聞ぬみぬ
三四 陸子寺き月夜を獨り打つ砧
三五 晩秋の霧の深さや砧聞く
三六 砧聞く夜を腹心に猪口を差す
三七 籤負けの酒買ひに出し砧かな
三八 商傾みに屢々寢惡む砧かな
三九 奇遇飲むに夜更けて雨の砧哉
四〇 旅に病み望郷の夜を砧かな
四一 小夜砧凄くも森を通りけり
四二 晩鐘に風れて搗つや遠砧
四三 森の上に瞬く星や遠砧
四四 小夜更けて一つ殘りし砧かな
四五 吾さわて砧にふるふ月白し
四六 砧聞く四十路の旅や小夜砧
四七 寢て聞る山の夜冷や遠砧
四八 砧切れ〳〵ト涙の兒を偲ふ
四九 笛吹けば月の遠砧
五〇 京の夜を物秘め人や打つ砧
五一 大厩に宿借る人や遠砧

ふる夜の袖なまめかし遠砧
夜砧や旅愁身にしみ母く手紙
姉死して獨り砧に母淋し
月に伏す鮮人村や小夜砧
移り住みて望郷の念や遠砧
疲れ果て隣に聽くよ小夜砧
妹懷ふ現や旅に聽く砧
急中晝少く坂れる町の晝砧
砧ひご時雉されば終列車過ぐ
場末淋しく三味習ふ娘に砧月夜なる
朝燒の空遠か河原砧に霧きそふ
砧きけば長かりし旅一人前へ
夜泰深う打つ砧少しの酒に父醉ひぬ
よべ星高し霧深う打つ砧
砧淋しき陣營に歩哨影落ちて
草の戸の消ゆるの灯や砧うつ
乳母の家砧の里を通りけり
亡き母を砧に思ひ泣く夜あり
誰も打つ砧や高麗の里
旅の子の思ひ出りつ、砧打つ
月しろや稍有て砧處々
女欠伸して砧に下りぬ韮の雨
砧盤の上に置きある襷かな
夜の森は砧の村を覆ひけり
入合の鐘の破音に砧かな
牛賣りし胡座に淋しき砧かな
草深き月の庭や打つ砧
更けて靜の飛電に點す砧かな
背に更けて目移す空や遠砧
豚コソヲ小舍や月澄む小夜砧
鐵山邑の砧に更けて森黒し
遠砧雲に流れて月細し
遠砧薄すれ傾く月の暈
砧打つや今日より明日隣の忌
二挺砧打ちやめて母臆へけり
寢られぬ老の手ずさみの夜砧
野菊や机の灯に更け行くよ砧
何處出て、荷馬渡すや川砧
金風一路砧洩る家に月冴ゆる
乳貰ひの遠慮して聞く砧かな
入相の鐘にもからむ砧かな
礎さやむ砧に外づす頰杖かな
小夜砧哀れ微かなく雨さなる
砧の音に吾家戀しき旅の宿
庭に出て砧の音を聞く月夜哉
紬しぼる月の砧や草枕
小夜砧思へば遠く來しものよ
秋の空御所偲ばるゝ砧かな
砧かな寄さが鑿う村の夕
底く高く秋ひき廻す砧かな
亂れ打つ砧の音や宵月夜
貞節を打ち込む音や小夜砧
子の泣て哀れ砧の絶え〴〵に
夕靜や闇にしみ入る砧の音
遠砧孤村靜かに更けてけり
子を背に愛のこもれる砧かな
思ひ内にあるか砧の亂拍子
更けて夜は殊にぞ響く砧かな
月山に入るや砧の仕舞時
大篝上棟夜に入る遠砧
月出でて砧打ちける妻心
學年や心せかるゝ小夜砧
砧打つ母に留しき里便り
拗れて來て隣りの砧打にけり
花嫁の涙打ちこむ砧かな
旅なれて音面白く唐砧
天の川いたく更けたり遠砧
細き灯のもとに砧打つ鮮女
新領地の月淋しむや遠砧
小夜砧昔ながらの門構
さすらひて日慣れぬ里の砧哉
砧しきる野末の村や旅枕
追懷の句に耽る夜や砧冴ゆ
陣營に淡き篝や遠砧
空清く北斗に響くさよ砧
落汐焚く烟は痩せて小夜砧
嫁ぐ日の二日となりし砧かな
二三戸の丘に散らばる砧かな
古都の月砧に偲ぶ事多く
思偲る時か砧のしぶろ打ち
旅愁の夢破れてさむし小夜砧
打擬ぜる喜怒哀樂や相砧
漢江に砧流る、砧かな
つれ〴〵に榮花の夢や遠砧
孝の名の谷間に響く砧かな
偲ばるゝ砧の音や小夜更けて
しころ打や旅の寢醒の碎心地
船に寢て砧に明し夜なりけり
寢に起きし人の砧か寢耳おぼろ
子寶に慈悲を打込む砧かな
風の沁む單衣重ねて砧かな
檐先に洩れよる鶏や砧打つ
道ひよりて乳さぐ子や砧打つ
新妻の打つや砧の調かな
霜冴ゆて十里も近く砧かな
憐なる話身にしむ砧かな
永旅に物思する遠砧
秋のさび纒めて打つや遠砧
隙間もる秋風寒し小夜砧
遠砧落葉に雨の音のする
砧打つ鮮女一人哉蟲の聲
初給いただく母の砧かな
誰れが衣と問はれて亂る砧哉
潮音より生る、樣な砧かな
一夜さは客も手傳ふ砧かな
心ぬし乳貰ひ路や小夜砧
杜出れば高く低く鳴る砧かな
母が打つ砧ひびきて涙かな
子を思ひ思ひて低う打つ砧
砧打つに灯影つめたき塞かな
琴の家今日は佗びしき砧かな

中々に擬音所は降り行く遠砧
消灯に物寂は降り行く砧かな
遠砧こゝにも今や立志談
まどやかな家庭を偲ぶ砧かな
かんてらや隱み合ふ打つ砧かな
水に沿ふ三戸の村や小夜砧
露營る兵の灯や遠砧
流星の消ゆる森や小夜砧
驢馬の啼く里の日盛や晝砧
踏石を砧用にせる砧かな
堂守の方より響く砧かな
戸毎打つ砧大方揃ひけり
溪深く鹿鳴く里の砧かな
蟲止みて落葉靜ぶや遠砧
悲歌はあれど砧靜けき港町
草枕思ひ〳〵に砧きく
打ちにけり止むる砧更にけり
兒や泣かむ乳母が砧の途切るは
故郷の雨砧淋しき鼻郷かな
小夜砧爆彈事件の噂かな
秋の月小窓に入れて砧打つ
砧打つ妻あり子あり袖の宿
砧暮れて武藏野に人絶えぬ
砧近く砧女呼べる南瓜畑
啼しもせぬ降りもせぬ夜の遠砧
乳貰ひの八起は妻の砧かな
夜は深く更けて砧のはずむ音
七坐砧に降るや月の雲
砧に響く母よ我國よ
遠砧戀しき母を偲ぶ、よ
四門閉ぢて内地の砧月に更く
裏沼に街の灯遠き砧かな
半世の哀史を秘めて砧かな
轉居して兒の泣き止まぬ砧かな
家知らぬ湖畔の途に砧かな
眼を覺ます子に乳やる、砧哉
物寶の來て腰下ろす砧盤
小夜更て木鶏の叩く遠砧
孝の名を夢破れて高し砧かな
娘の砧天に響きし砧かな
更けても月夜たのしき砧かな
旅一夜耳新らしき砧かな
奧まりし社の門もる、砧かな
島影に假泊二夜や遠砧
貞操の音も誠や打砧
調子よく打は鮮婦の砧かな
水あれば砧打つなり高麗の人
五家庄の負けもおらうす砧哉
村々は昔しも變や打つ砧
よめもと愛を含せて打つ砧
うたひ〳〵寢の枕に響く砧かな
駐在所の門に灯つけば砧かな
月さびて遠近に聞く砧かな
遠砧ポプラ月夜さなりけり
砧の音し遠くなりけり邑端れ
旅の夜に思起さす砧かな
隣村の砧淋びしき夜永かな
渡犬の覗き行きけり砧の灯
月下村ありと知る風の遠砧
砧流近月下の村の夜や更けし
砧の絶間隣の夜機聞く哉
小夜砧今宵も君は意なや
月明に鳴るや鮮家の砧かな

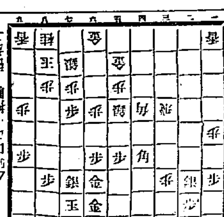
## 將棋新手合(四)(其)

溝呂木六段評

本手番△金山 園田豐(二段)
先▲京城 廣戸庄吉(初段)
(於京城若草町九 溝呂木將棋所)

圖は前號指了迄の局面

▲廣戸氏持駒 桂 歩二



△三八歩ナル ▲七三歩ナル △同銀 ▲七四歩 △同銀 ▲六四角(ル) △七三歩 ▲三八銀(チ) △六三銀 ▲七三歩 △三五歩 ▲五五角 △同角 ▲五五角 △四四角(左) ▲三五歩 △同角 ▲四四角 △五五歩 ▲三五飛 △四三飛 ▲三七歩 △三五飛 ▲同銀 ▲四七飛ナル ▲五六角(以下次號)

溝呂木六段評 ▲(ル)六四角は味なし此處三八銀四七銀三五歩三九桂なる三四歩にて面白し ▲(チ)三八銀は三六歩と行く處なる


現物 仲買 坂倉株式店 電話

最新刊
書名 著者 定價 送料
鮮譯國語大辭典 船岡獻治著 金澤博士校閲 特價 四三〇 三七
朝鮮大地圖 本日出來 特價 二五〇
結婚期
京城本町一丁目 大阪屋號 電話
朝鮮總督府遞信局 購買組合指定店 京日代理部

淺田飴 本舗 東京大阪 堀内藥房

◎金指輪？ 無代進呈 金華堂本舗

醬油 キッコーマン 野田醬油株式會社

資本金參百萬圓(明治三十八年設立)
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
株式會社 漢城銀行 京城府南大門通一丁目十四番地
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 東京、東大門、東萊、平壤大和町、西大門

純金彫刻入 寶石入指環品揃
金銀懷中時計 實用萬年ペン 品揃
中村眼鏡店 京城本町二丁目 振替京城四六三

つわり湯 本舗 東京小石川 無量壽藥園

イケダ小兒内科病院 池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(病院二二三〇番)(自宅二〇〇番)

皮革の保存耐久を主として精製せる 專賣特許
◎ミツワ靴クリーム
徒來の靴墨靴インキ靴クリーム等は、唯靴の色艶を美しくすることを主として、皮革の保存耐久に留意したもの甚だ少いやうです、本品はこれと反對に皮革の保存耐久を主として、美しい色艶をも十分に現すやうに研究されてゐるもので、最も完全無缺の優良な靴クリームであります。
◎ミツワ靴クリームの特徴
一、皮革の保存耐久に有効な成物質を配合せること
一、耐水性の完全なること
一、塵埃を附着する粘着性なきこと
一、少量を以て十分美しく磨かれる故經濟的なること
一、磨き上げた光澤の艶やかなこと
一、一回塗布すれば靴を常用しても三四日は同樣の色艶を保つこと
一、保存中變質の虞なき故使用し盡されること
一、容量他の靴クリームより多きこと
賣捌店(靴店、洋品舖、化粧品店、雜貨店、洋酒食料品舖、文房具學校用品)
發賣元 ◎ 丸見屋商店

初秋のお髮上げには！
ホーカー美髮液
紳士間にも益々大流行
東京中の髮結さんが責任を以て推賞するこれ!!
東京 堀越嘉太郎商店

日本優等清酒 花木本家釀造
フクムスメ
特約販賣 京城 島屋本店販賣部

▲軍隊拂下大安賣 川本衣服店 龍山元町二丁目

淫羊藿エキス
京城明治町二丁目 森小兒科病院